
武豊町公園施設再編計画

令和7年3月

武豊町建設部都市計画課

目 次

1. 基本条件の整理	1
1.1 再編計画策定の背景と目的	1
1.2 公園概要	2
1.2.1 対象公園	2
1.3 関連・上位計画の整理	5
1.3.1 国の関連計画	5
1.3.2 武豊町の上位・関連計画	7
1.4 計画策定の進め方	9
2. 武豊町の公園の現状	10
2.1 公園をとりまく武豊町の概況	10
2.2 公園の整備状況	12
2.3 分析に向けて	15
3. 利用実態調査	16
3.1 調査概要	16
3.1.1 調査結果	16
4. 身近な公園の評価分析	30
4.1 評価指標の設定	30
4.1.1 現況タイプ評価の指標	30
4.1.2 利用環境評価の指標	31
4.1.3 身近な公園の現況評価結果	33
4.2 現況評価結果の分析	34
4.2.1 小学校区ごとの特徴	34
4.2.2 分析結果まとめ	38
4.3 維持管理の課題分析	39
4.3.1 公園管理の現状	39
5. 公園再編計画	43
5.1 基本方針	43
5.2 再編フロー及び結果	45
5.3 各公園の再編方針	47
6. 計画の管理と見直しについて	55
6.1 モデル地区における実証	55
6.1.1 ワークショップ概要	55
6.1.2 ワークショップ結果	56
6.1.3 今後の実証について	58
6.2 計画の実行に向けて	59
6.3 計画の管理と見直しについて	59

Ⅰ. 基本条件の整理

Ⅰ.Ⅰ 再編計画策定の背景と目的

本町には、大小様々な公園が96箇所整備されています。これらの公園は、憩いや遊びの場として親しまれているだけでなく、災害時の避難場所や地域コミュニティの活動拠点としても利用され、地域住民の日常生活を支える重要な役割を果たしています。

しかしながら、多くの公園は供用開始から30年以上が経過し、施設の老朽化が進んでいます。また、時代の変化に伴う公園に求めるニーズの多様化や、地域ごとに異なる人口減少・高齢化の進展により、公園の利用状況や必要性にも差が生じています。

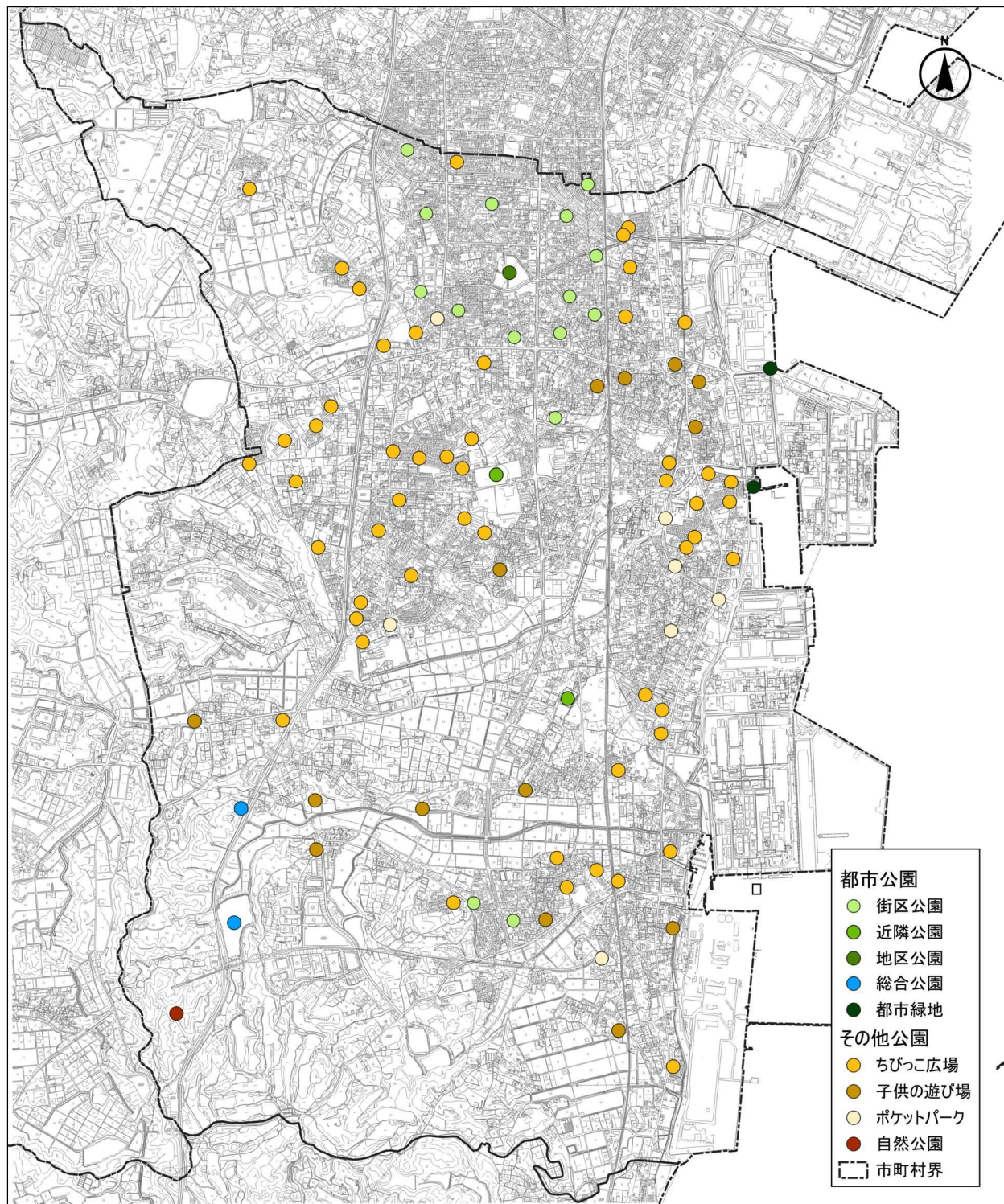
このような背景から、公園の役割や機能を再評価し、再編の方向性を検討することが重要となっています。

そこで、本計画では、公園ごとの立地や規模、利用状況、周辺環境などの特性を踏まえた調査分析を行い、公園ごとの役割や機能を明確にするとともに、限られた財源の中で公園の魅力向上させ、町民の憩いと賑わいの場となる公園づくりを目指し、本計画を策定します。

1.2 公園概要

1.2.1 対象公園

本計画の対象とする公園は、都市公園22公園、その他公園74公園の計96公園です。



【公園施設再編計画対象公園リスト】

種別	名称	面積 (㎡)
都市公園	街区公園 中蓮公園	3,171
	街区公園 砂川公園	5,069
	街区公園 中狭公園	3,633
	街区公園 ニヶ崎公園	2,500
	街区公園 池田公園	1,330
	街区公園 鹿ノ子田公園	2,801
	街区公園 梨子ノ木公園	2,600
	街区公園 祠峯公園	3,750
	街区公園 平井公園	1,800
	街区公園 田平井公園	1,600
	街区公園 天神公園	1,201
	街区公園 西側1号公園	1,001
	街区公園 西側2号公園	3,600
	街区公園 北山公園	1,500
	街区公園 アサリ池公園	7,691
	近隣公園 熊野池公園	17,000
	近隣公園 武豊中央公園	34,000
	地区公園 鹿狩池公園	43,019
	総合公園 別曾池公園	102,000
	総合公園 武豊町総合公園 多目的広場 (14.7ha 中 0.2ha 供用開始)	2,000
	都市緑地 臨海緑地	2,835
	都市緑地 北浜緑地	1,200
その他公園	ちびっこ広場 壱町田	466
	ちびっこ広場 梨子ノ木	329
	ちびっこ広場 下山ノ田	469
	ちびっこ広場 豊成二丁目	213
	ちびっこ広場 石川	3,491
	ちびっこ広場 中蓮	277
	ちびっこ広場 若宮	221
	ちびっこ広場 中狭	297
	ちびっこ広場 塩田	220
	ちびっこ広場 堀川	99
	ちびっこ広場 上山第1	639
	ちびっこ広場 上山第2	263
	ちびっこ広場 上山第3	200
	ちびっこ広場 緑台第1	613
	ちびっこ広場 緑台第2	308
	ちびっこ広場 多賀	581
	ちびっこ広場 六貫山	3,303
	ちびっこ広場 嶋田	312
	ちびっこ広場 緑丘	283
	ちびっこ広場 川脇	166
	ちびっこ広場 平海道第1	410
	ちびっこ広場 平海道第2	185
	ちびっこ広場 郷北第1	302
	ちびっこ広場 郷北第2	300
	ちびっこ広場 蔵ノ内	358
	ちびっこ広場 北側	469
	ちびっこ広場 塔ノ下	490
	ちびっこ広場 本田	243

種別	名称	面積 (㎡)
その他公園	ちびっこ広場 明神戸第 1	299
	ちびっこ広場 明神戸第 2	200
	ちびっこ広場 外面	307
	ちびっこ広場 塔ノ下第 2	86
	ちびっこ広場 金下第 1	202
	ちびっこ広場 金下第 2	200
	ちびっこ広場 中山新池	150
	ちびっこ広場 北中根	485
	ちびっこ広場 北中根第 2	240
	ちびっこ広場 北中根第 3	1,529
	ちびっこ広場 桜ヶ丘	222
	ちびっこ広場 中山	910
	ちびっこ広場 北長宗	270
	ちびっこ広場 海道	194
	ちびっこ広場 中根	444
	ちびっこ広場 道仙田	204
	ちびっこ広場 道兼	546
	ちびっこ広場 多賀第 2	3,390
	ちびっこ広場 西長峰	198
	ちびっこ広場 六貫山第 2	218
	ちびっこ広場 多賀第 3	202
	ちびっこ広場 楠第 1	539
	ちびっこ広場 楠第 2	365
	ちびっこ広場 上山第 4	150
	子供の遊び場 下門区公民館北	1,460
	子供の遊び場 市場公民館前	1,066
	子供の遊び場 ヒジリ田地内	252
	子供の遊び場 小迎公民館前	65
	子供の遊び場 山ノ神社社境内	405
	子供の遊び場 玉貫公民館前	88
	子供の遊び場 原田公民館前	203
	子供の遊び場 津島社境内	783
	子供の遊び場 竜宮保育園南	770
	子供の遊び場 東大高農村広場	1,700
	子供の遊び場 東大高	2,471
	子供の遊び場 市原	240
	子供の遊び場 市原農村広場	5,000
	子供の遊び場 新田農村広場	1,041
	ポケットパーク 多賀ポケットパーク	641
	ポケットパーク 林平井ポケットパーク	692
	ポケットパーク 平井ポケットパーク	437
	ポケットパーク 転車台ポケットパーク	634
	ポケットパーク 後田ポケットパーク	704
	ポケットパーク 山起ポケットパーク	142
	ポケットパーク 里中ポケットパーク	461
	自然公園 自然公園	240,000

1.3 関連・上位計画の整理

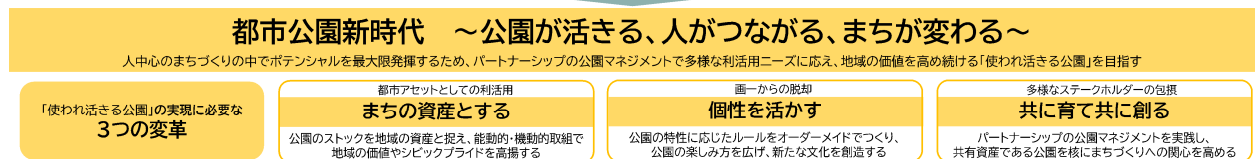
公園の再編検討の前提として、国の公園再編に関連する計画、本町の上位・関連計画に記載されている都市公園及びその他公園の基本的な方針等、整理を行いました。

1.3.1 国の関連計画

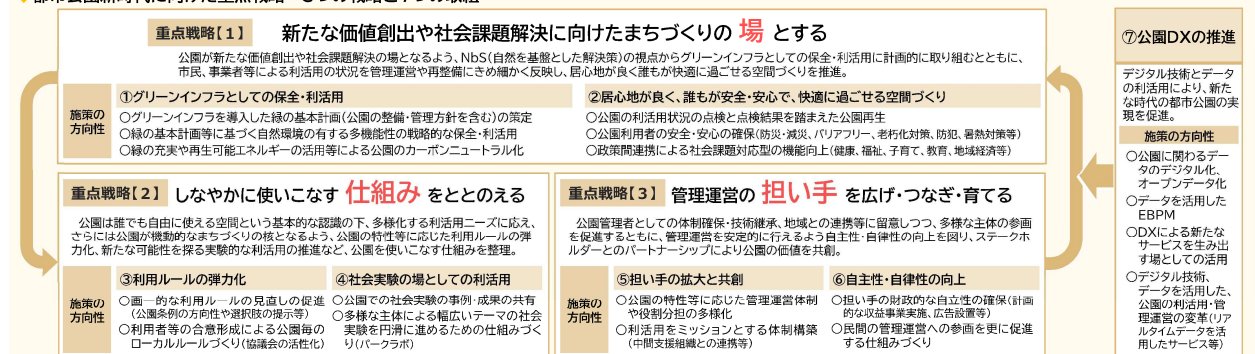
(1) 都市公園新時代 ～公園が活きる、人がつながる、まちが変わる～（国土交通省）

社会の成熟化、市民の価値観の多様化、都市インフラの一定の整備等を踏まえ、平成29年に都市公園法を改正し、都市公園が持つ緑とオープンスペースなどの機能を市民の生活の質の向上のために最大限引き出す柔軟な利活用を推進しています。

都市公園の柔軟な管理運営のあり方に関する検討会提言(概要)					
都市公園制度誕生150年目のパラダイムシフト ～人中心のまちづくり時代における都市公園の意義・役割～				～各時代の社会背景～	
明治6(1873)年	太政官布達	都市公園制度の始まり 名勝・旧跡等の群衆遊憩の地を市民の憩楽の場として国民に開放 その後、震災時の避難地・防災拠点等として公園整備が進む	都市の近代化、震災復興・戦災復興の都市計画		
昭和30年代～	都市公園法制定(S31)、都市公園等整備緊急措置法制定(S47)	経済成長、人口増加等を背景に、緑とオープンスペースの量の整備を急ぐステージ	高度経済成長、人口の急増、都市の拡大と過密化		
平成28(2016)年	「新たな時代の都市マネジメントに対応した都市公園等のあり方検討会」最終報告書	緑とオープンスペースが持つ多機能性を都市のため、地域のため、市民のために最大限引き出すことを重視する「新たなステージ」へ	人口減少・高齢化、規制緩和、地方分権、地方創生、国際的な都市間競争、インフラ老朽化と技術職員の減少		
ポストコロナの時代 における 人中心のまちづくり への機運の高まり	「居心地が良く歩きたくなる」まちづくりの取組の広がり ～交流・滞留空間、開かれた心地よい空間の創出～		地球環境問題の新たな潮流 ～人と自然が共生する持続可能なレジリエントな都市の形成～		人口減少、少子高齢化への対応 ～全てのこどもの健やかな成長を目指すこども政策の推進～
	新型コロナウイルスの感染拡大を終ったニューノーマル社会への対応 ～人中心・市民目線のまちづくり、ニーズに対応する機動的なまちづくり～		市民・事業者の意識変化 ～参画意識の高まり、官民連携による社会課題解決と新たな市場創造・成長～		デジタル・トランスフォーメーションの進展 ～既存の仕組みの変革、新たな価値創出～
新たな時代における都市公園の意義・役割 ～公園本来の役割、多機能性、多様な可能性の再認識～					
個人と社会のWell-beingの向上に向け、地域の課題や公園の特性に応じ、ポテンシャルを更に発揮すべき					
持続可能な都市を支える グリーンインフラ		心豊かな生活を支える サードプレイス		人と人のリアルな交流、 イノベーションを生み出す場	社会課題解決に向けた 活動実践の場
				機動的な まちづくりの核	



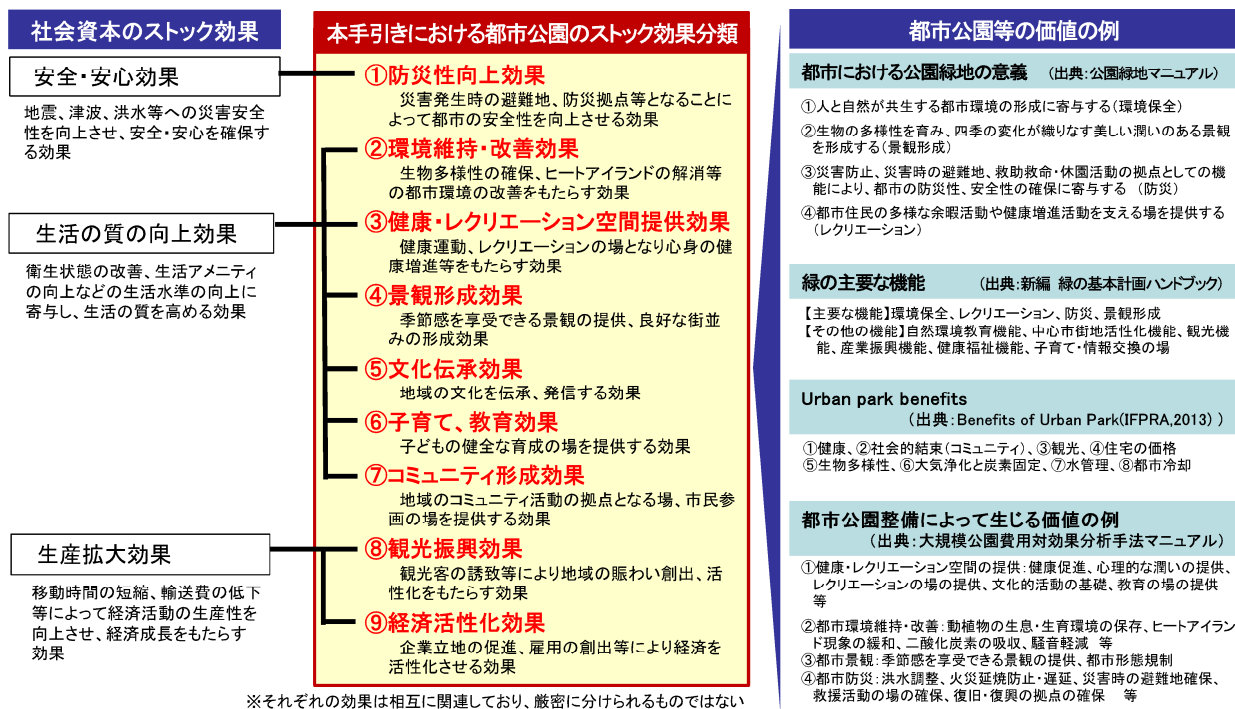
◆都市公園新時代に向けた重点戦略～3つの戦略と7つの取組～



出典：都市公園新時代 ～公園が活きる、人がつながる、まちが変わる

(2) 都市公園のストック効果向上に向けた手引き（国土交通省）

都市公園のストック効果を十分発揮するためには、適切な維持管理、運営が必要であります。また、時代の変化やニーズの変化等に応じて、求められるストック効果が変化することもあるため、ストック効果を維持・向上させるための工夫を、都市の状況や個々の都市公園の特性等に応じ、継続的に行うことが必要としています。



※それぞれの効果は相互に関連しており、厳密に分けられるものではない

出典：都市公園のストック効果向上に向けた手引き

1.3.2 武豊町の上位・関連計画

(1) 第6次武豊町総合計画（令和3年～令和12年）

第6次武豊町総合計画は、今後のまちづくりの総合的な指針となるもので、本町における最上位の計画であり、町の将来の基本的な方向と目標、目指すまちの姿を示し、それを実現するためにまちづくり（子育て、教育、医療、防災、公共交通、観光、デジタル化など）で取り組むべきことを定める計画です。

総合計画の中で、公園に関連する課題や基本方針等の記載は、下記のとおりです。

指 標	説 明	現状値 (2018年)	中間目標 (2025年)	最終目標 (2030年)
町の中心部の魅力や活気への満足度	町民意識調査で「中心市街地がにぎやかに活気づいている」ことに『満足』または『やや満足』と回答した割合	11.3%	15%	20%
住環境への満足度	町民意識調査で「暮らしやすい住環境が整っている」ことに『満足』または『やや満足』と回答した割合	35.3%	40%	45%
公園を利用する人の割合	町民意識調査で「近所の公園や児童遊園を利用している」と回答した割合	25.8%	28%	30%

(2) シビックプライドの 醸成	①自分たちが生まれ育ったまちに誇りと愛着を持ってもらえるよう、子どもたちがまちの魅力を学ぶ機会の充実を図ります。 ②参加者の交流や触れ合いを深め、まちへの愛着を醸成してもらえるよう、誰もが気軽に参加できるイベントの充実を図ります。 ③関係機関と連携し、地域の特産物や地域資源、歴史的資源を活用した地域活性化の取組・活動を推進します。 ④公園、河川、花壇等、住民や地元企業等の参加によるアダプトプログラム* の促進を図ります。
------------------------	--

出典：第6次武豊町総合計画

- ・公園の整備や維持管理を図るとともに公園等の公共施設におけるイベント等、誰もが集い、憩える場所づくりを進めます。
- ・公園、河川、花壇等、住民や地元企業等の参加によるアダプトプログラム*の促進を図ります。

*アダプトプログラム…地域にとって重要な公共空間である公園、緑地、広場、花壇等の公共施設の美化及び保全等のため、町民がこれらの里親となって、ボランティアで管理することで、環境美化に対する意識の高揚を図るとともに、町民と町が一体となった公園等の環境美化活動を推進することを目的とする制度

(2) 武豊町都市計画マスタープラン（令和３年～令和１２年）

自然・公園に関する地域住民意見（地域別）

地域	地域の魅力（良いところ）	地域の問題点（悪いところ）
緑丘地域	・ 壱町田湿地をはじめとする自然が豊かで住みやすい ・ 鹿狩池公園が利用しやすい	・ 小学校区における緑・公園の拠点が必要 ・ 生態系の保全が必要
武豊地域	・ 広場・公園が地域に点在している	・ 地域のニーズに合った公園が必要 ・ 公園の分布に偏りがある
衣浦地域	・ 武豊中央公園が整備されている ・ 田畑や海をはじめとする自然が豊か	・ 子どもが遊べる公園が少ない ・ 町内の公園には行かない
富貴地域	・ 丘陵部をはじめとする豊かな自然がある ・ 小さな公園が適度に配置されている	・ 乳幼児でも遊べる公園がない ・ 特徴的・魅力的な公園・緑地づくりが必要 ・ 公園の管理が良くない ・ 公園の利便性が良くない ・ 環境悪化に対する対策が必要

また、各地域の公園・緑地・景観に関するまちづくり方針は下記のとおりです。

【緑丘地域】

- ・ 長成池や鹿狩池周辺は良好な親水空間として維持管理し、活用を促進します。
- ・ 農地や緑地、水辺などは潤いをもたらす貴重な景観資源として保全・活用します。
- ・ 市街地の緑化を進め、農地や緑地と調和した潤いのある住環境を形成します。
- ・ 壱町田湿地は地域の資源として保全し、更に魅力を高める工夫をします。

【武豊地域】

- ・ 鹿狩池やアサリ池周辺は良好な親水空間として維持管理し、活用を促進します。
- ・ 武豊緑地は貴重な海辺の空間として拡充整備を関係機関と連携して推進します。
- ・ ため池周辺の水辺は、潤いをもたらす貴重な景観資源として保全・活用します。
- ・ 住宅地では、文化財や保存樹木など地域資源を活用した魅力ある景観形成を促進します。
- ・ 名鉄河和線の東側では既成市街地の良好な住宅地の形成を促進するため、ポケットパークやオープンスペース等の整備を検討します。

【衣浦地域】

- ・ 大足・里中地区では、みそ蔵を活かした魅力ある景観形成を促進します。
- ・ 河川やため池周辺、ヨットハーバーなどの水辺は、潤いをもたらす貴重な景観資源として保全・活用します。

【富貴地域】

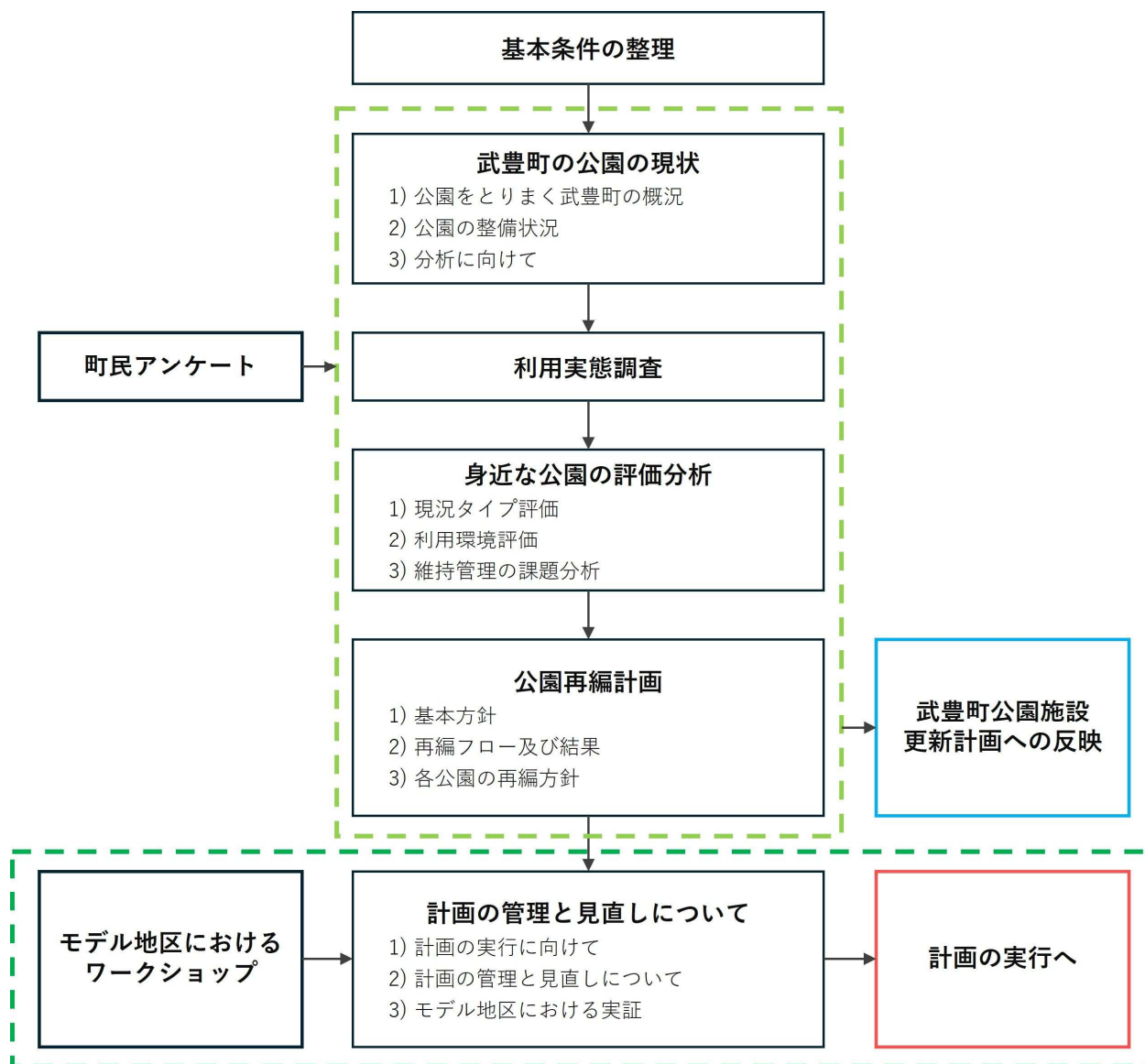
- ・ やすらぎの森墓園の未供用部分の整備や総合公園の整備計画を推進します。
- ・ 熊野池や別曾池周辺は良好な親水空間として維持管理するとともに、アクセス道路の充実などにより活用を促進します。

出典：武豊町都市計画マスタープラン

1.4 計画策定の進め方

本計画の策定にあたっては、全公園を対象とした整備状況の把握等の現状調査のほか、利用者である町民の意見を取り入れるため、町民アンケートを通じて、ニーズの把握を行いました。さらに、各公園の再編方針案を策定し、各公園の方針を具体化することで、実現性のある計画を目指します。

また、今後の公園利活用の可能性を探るため、モデル地区におけるワークショップを実施し、公園の利活用につなげます。



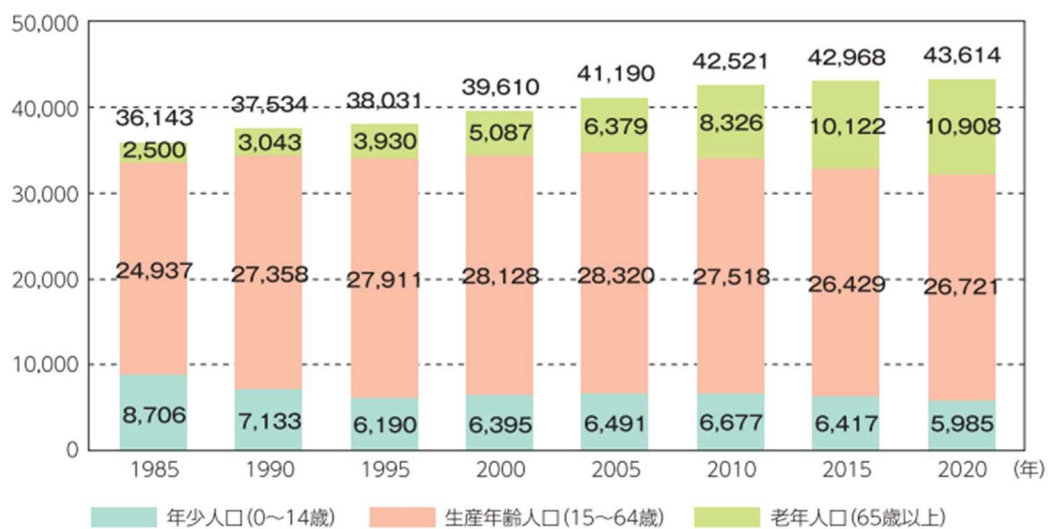
【計画策定の進め方】

2. 武豊町の公園の現状

2.1 公園をとりまく武豊町の概況

(1) 人口推移

全国的に人口が減少する中であって、本町の総人口は横ばいの傾向にあります。しかしながら年少人口は1985年以降減少傾向にあり、また生産年齢人口は2005年をピークに減少傾向にあります。



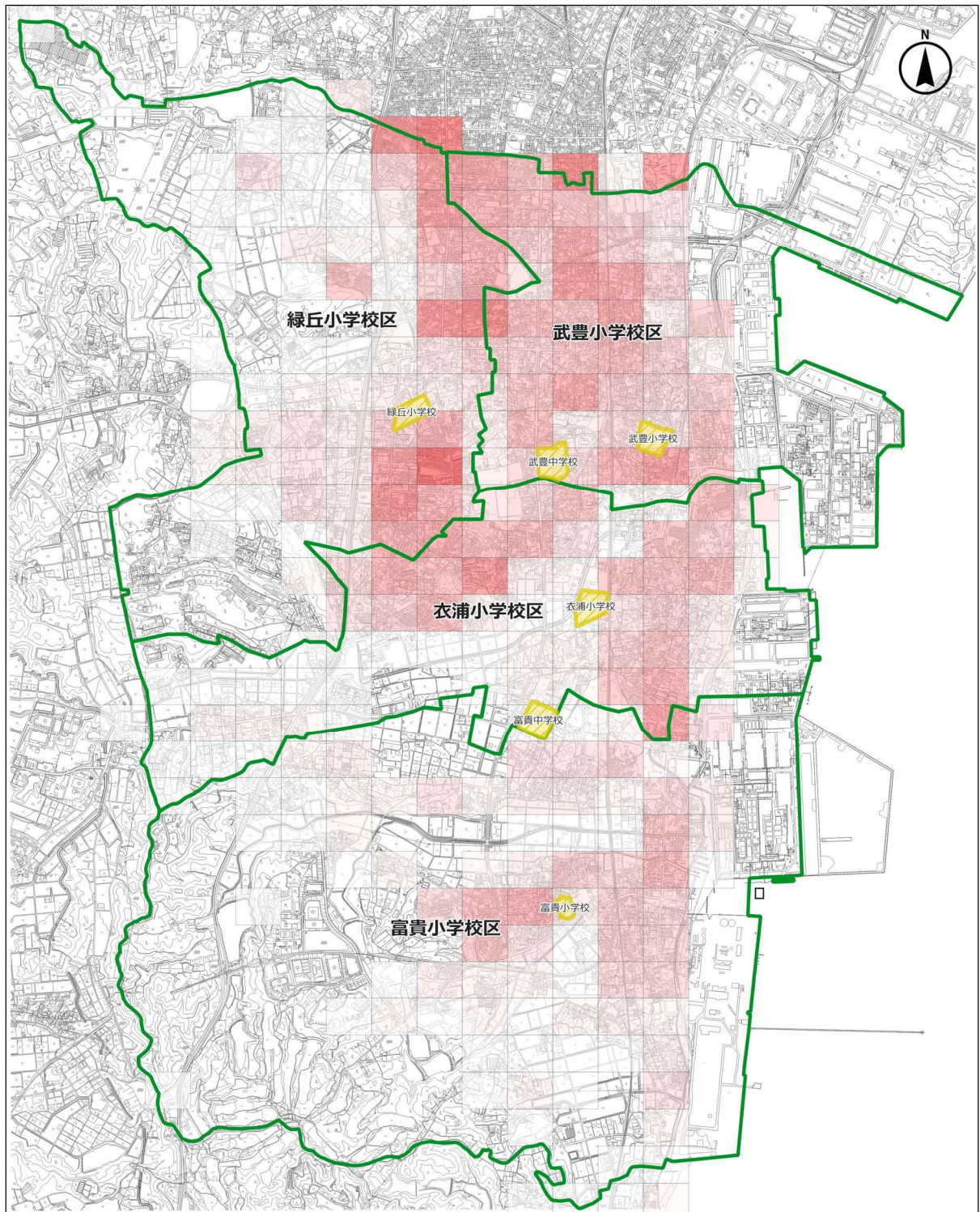
	1985	1990	1995	2000	2005	2010	2015	2020
年少人口 (0~14歳)	8,706	7,133	6,190	6,395	6,491	6,677	6,417	5,985
	24.1%	19.0%	16.3%	16.1%	15.8%	15.7%	14.9%	13.7%
生産年齢人口 (15~64歳)	24,937	27,358	27,911	28,128	28,320	27,518	26,429	26,721
	69.0%	72.9%	73.4%	71.0%	68.8%	64.7%	61.5%	61.3%
老年人口 (65歳以上)	2,500	3,043	3,930	5,087	6,379	8,326	10,122	10,908
	6.9%	8.1%	10.3%	12.8%	15.5%	19.6%	23.6%	25.0%
合 計	36,143	37,534	38,031	39,610	41,190	42,521	42,968	43,614

【年齢3区分別人口の推移（1985年～2020年）】

出典：第6次武豊町総合計画

(2) 人口分布

人口分布をみると、衣浦小学校区以北に人口が集中しており、富貴小学校区は他小学校区と比較して、人口の集中しているエリアが少ないことが分かります。



【人口分布状況】

※色が濃い箇所が、人口が集中しているエリア

2.2 公園の整備状況

(1) 公園の概要

本町における公園数及び面積、遊戯施設数の内訳は下表のとおりです。

【武豊町の公園概要（令和6年時点）】

公園の種別	公園数	面積	遊戯施設数
都市公園	22 公園	245,301 ㎡	82 施設
街区公園	15 公園	43,256 ㎡	65 施設
近隣公園	2 公園	51,000 ㎡	5 施設
地区公園	1 公園	43,019 ㎡	8 施設
総合公園/都市緑地	4 公園	108,026 ㎡	4 施設
その他公園	74 公園	286,312 ㎡	123 施設
ちびっこ広場	52 公園	27,057 ㎡	90 施設
子供の遊び場	14 公園	15,544 ㎡	27 施設
ポケットパーク	7 公園	3,711 ㎡	0 施設
自然公園	1 公園	240,000 ㎡	6 施設
計	96 公園	531,613 ㎡	205 施設

※都市公園：都市公園法で規定する公園。

※その他公園：上記以外で町が管理する公園。都市公園に準じる。

【公園の種類】

公園種別		概要
都市公園	街区公園	主として街区内に居住する者の利用に供することを目的とする公園で誘致距離 250mの範囲内で1箇所当たり面積 0.25ha を標準として配置する。
	近隣公園	主として近隣に居住する者の利用に供することを目的とする公園で誘致距離 500mの範囲内で1箇所当たり面積 2ha を標準として配置する。
	地区公園	主として主として徒歩圏内に居住する者の利用に供することを目的とする公園で誘致距離 1,000mの範囲内で1箇所当たり面積 4ha を標準として配置する。
	総合公園	都市住民全般の休息、観賞、散歩、遊戯、運動等総合的な利用に供することを目的とする公園で都市規模に応じ1箇所当たり面積 10～50ha を標準として配置する。
	都市緑地	主として都市の自然的環境の保全並びに改善、都市の景観の向上を図るために設けられている緑地であり、1箇所あたり面積 0.1ha 以上を標準として配置する。

※国土交通省HPを参考に作成

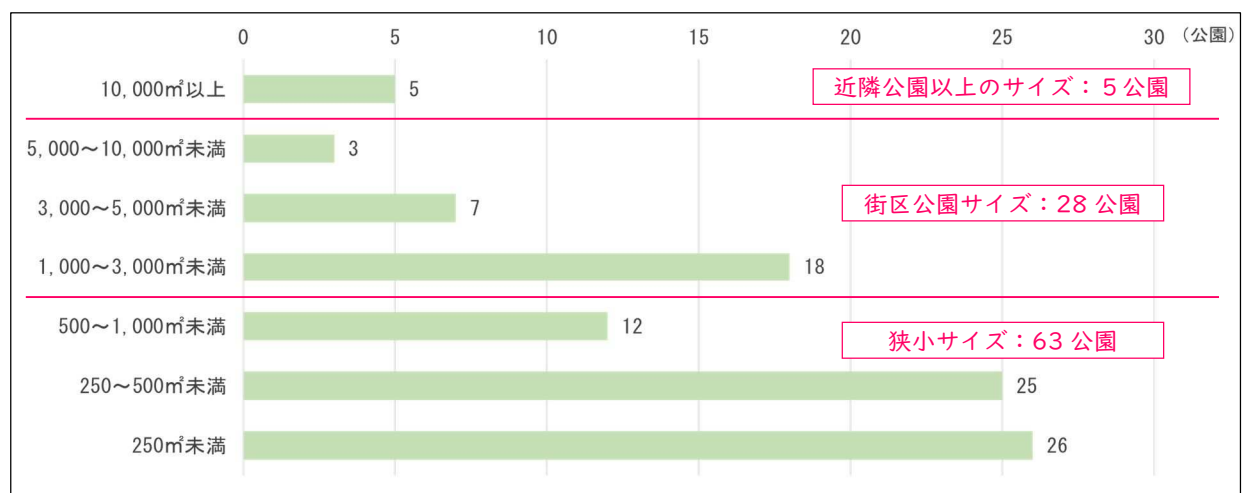
公園種別		概要
その他公園	ちびっこ広場	主に子どもが遊ぶことを目的とし、遊具やベンチ等を設置した町が管理する公園。
	子供の遊び場	主に子どもが遊ぶことを目的とし、遊具やベンチ等を設置した区が管理する公園
	ポケットパーク	都市環境の改善や歩きやすいまちづくりを目的とし、歩いている方が休めるようなベンチ等を設置した小さい公園。

(2) 面積別公園数

公園規模などから下記の面積ごとに分類すると狭小サイズの公園が63公園と多く、全体の半数以上を占めていることが分かります。

【面積ごとにおける公園の分類】

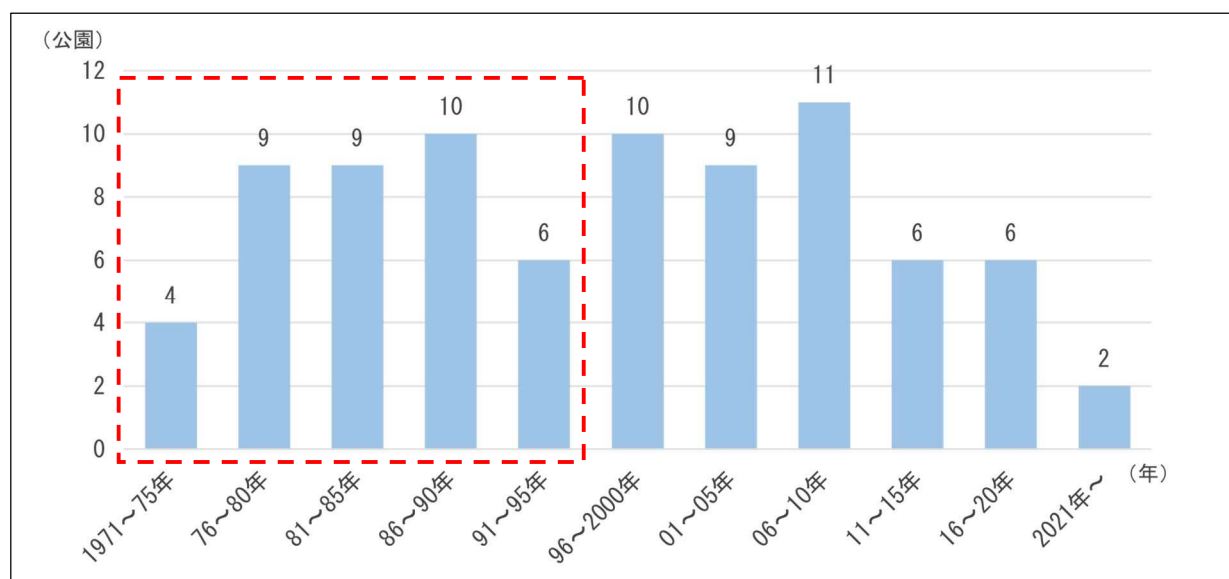
公園の分類	基準とする面積	公園数
近隣公園以上のサイズ	10,000 m ² 以上	5 公園
街区公園サイズ	1,000～10,000 m ² 未満	28 公園
狭小サイズ	1,000 m ² 未満	63 公園
総計	—	96 公園



【面積別公園数】

(3) 公園の開設年

公園の開設年をみると、供用開始から30年以上経過した公園が全体のうち約45%あり、遊戯施設をはじめとした公園施設の老朽化が各所で見られます。



【公園の開設年】

※子供の遊び場は設置年度不明のため除外している。



【老朽化した遊戯施設】

(4) 公園施設の重複

近接する公園で、ブランコ、滑り台、砂場といった同じような遊戯施設が設置されているなど、個性に乏しい公園が多く存在しており、特に街区公園やちびっこ広場など面積の小さな公園にその特徴が見られます。

2.3 分析に向けて

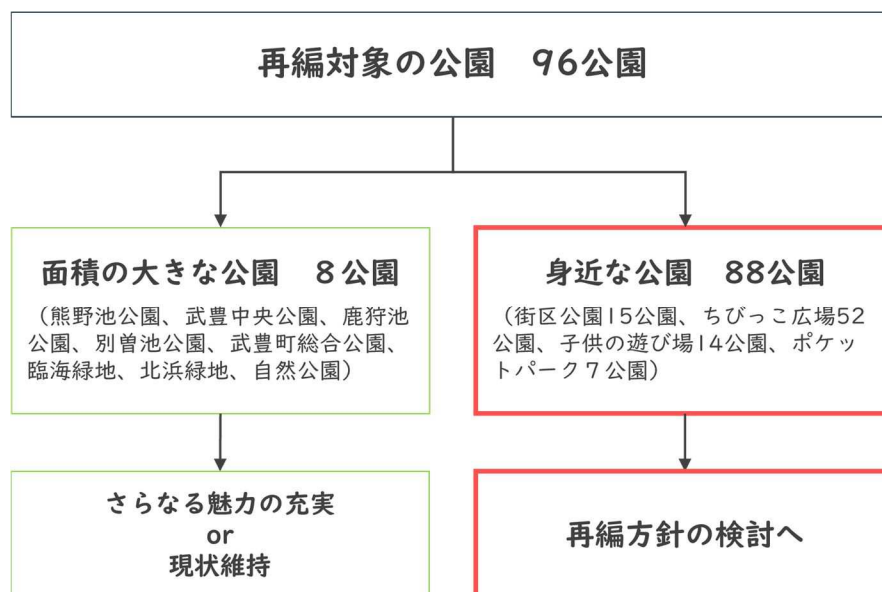
本計画では、武豊町の全公園を再編対象とするものの、都市公園の中でも面積の大きい近隣公園以上の都市公園については、多くの人に利用されていることから、原則、**現状維持またはさらなる魅力の充実**を図ることとします。

一方で、公園数の多い街区公園やちびっこ広場等面積の小さい公園において、施設の重複や施設の老朽化が顕著であるため、各公園の在り方を見直す必要があります。

そこで、町民の生活の中で最も身近に配置される街区公園及びちびっこ広場、子供の遊び場、ポケットパークを“**身近な公園**”と定義し、次章以降では身近な公園 88 公園についての調査分析、再編方針の検討を行いました。

【身近な公園の定義】

公園の種別	公園数	面積	遊戯施設数
都市公園	22 公園	245,301 m ²	82 施設
街区公園	15 公園	43,256 m ²	65 施設
近隣公園	2 公園	51,000 m ²	5 施設
地区公園	1 公園	43,019 m ²	8 施設
総合公園/都市緑地	4 公園	108,026 m ²	4 施設
その他公園	74 公園	286,312 m ²	123 施設
ちびっこ広場	52 公園	27,057 m ²	90 施設
子供の遊び場	14 公園	15,544 m ²	27 施設
ポケットパーク	7 公園	3,711 m ²	0 施設
自然公園	1 公園	240,000 m ²	6 施設
計	96 公園	531,613 m ²	205 施設



3. 利用実態調査

身近な公園の利用実態及びニーズを把握するため小学校区ごとにエリアを分け、町民アンケート調査を実施しました。

3.1 調査概要

調査期間や対象者、調査方法等、町民アンケート調査の概要は下表のとおりです。

【身近な公園に関する町民アンケート調査の概要】

調査期間	令和6年8月9日（金）～令和6年9月1日（日）
調査対象者	武豊町在住の3～15歳の子どもをもつ子育て世帯
調査方法	郵送による紙面回答方式及びQRコードを使用したWeb回答方式
調査内容	問1：回答者属性 問2～6：身近な公園の利用状況やニーズについて 問7～10：身近な公園の維持管理について 問11～14：子どものあそびや遊戯施設の利用状況 自由記述

3.1.1 調査結果

町民アンケート調査結果は以下のとおりです。

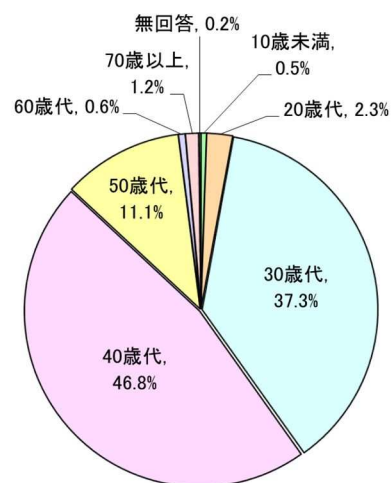
【身近な公園に関する町民アンケート調査の結果】

	合計	内訳
調査数	2,885世帯	武豊小学校区：892世帯 緑丘小学校区：870世帯 衣浦小学校区：603世帯 富貴小学校区：520世帯
回答者数	1,153世帯（Web回答748世帯）	武豊小学校区：365世帯 緑丘小学校区：352世帯 衣浦小学校区：229世帯 富貴小学校区：207世帯
回収率	39.9%（Web回答64.8%）	武豊小学校区：40.9% 緑丘小学校区：40.4% 衣浦小学校区：37.9% 富貴小学校区：39.8%

【回答者属性について】

問1.年齢を教えてください。

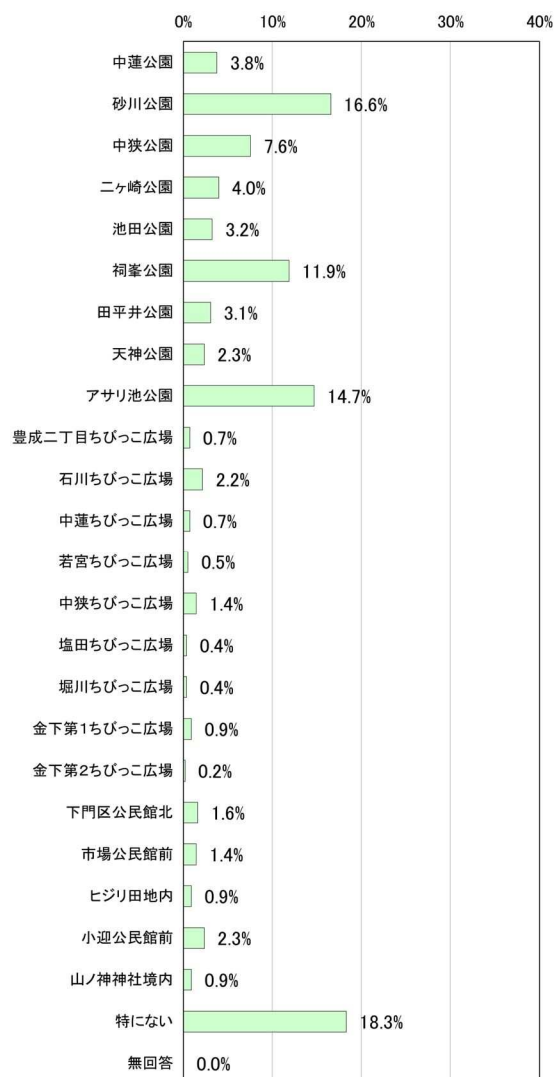
選択肢	件数	比率
1. 10歳未満	6	0.5%
2. 20歳代	27	2.3%
3. 30歳代	430	37.3%
4. 40歳代	539	46.8%
5. 50歳代	128	11.1%
6. 60歳代	7	0.6%
7. 70歳以上	14	1.2%
無回答	2	0.2%
計	999	100.0%



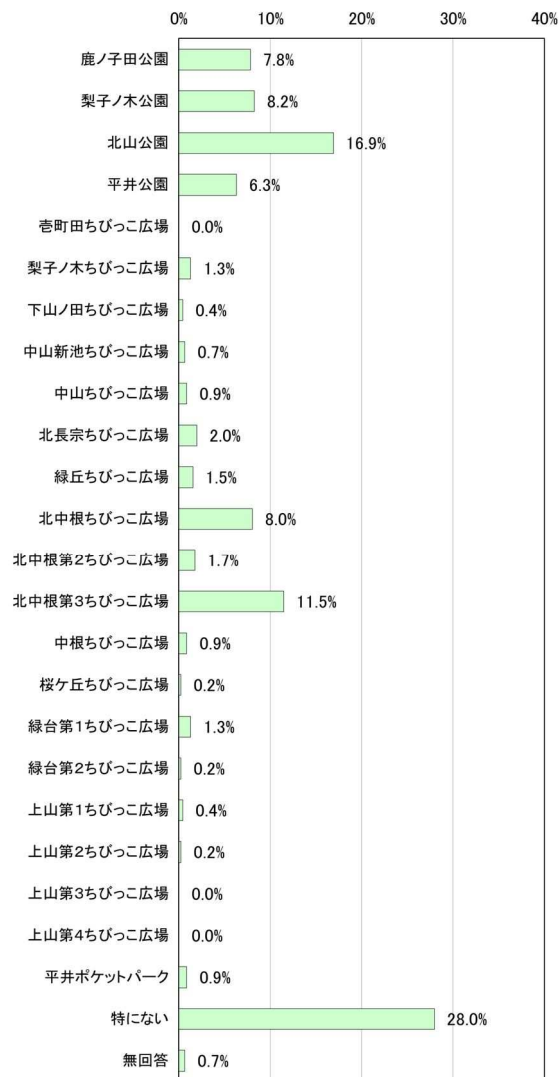
【身近な公園の利用状況やニーズについて】

問2.あなたが利用する身近な公園を教えてください。（3つまで）

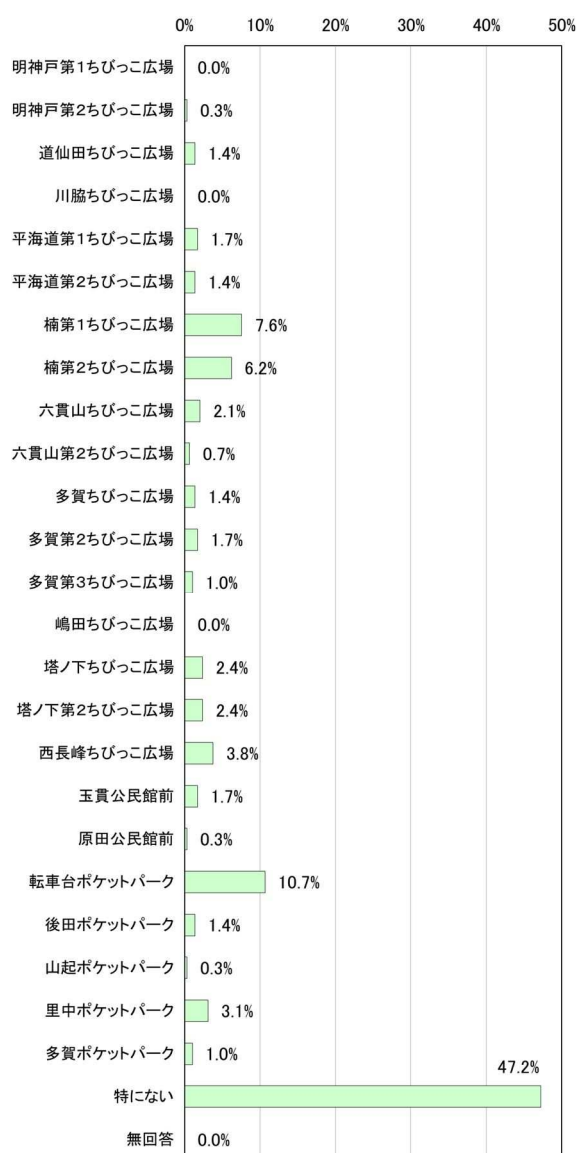
■武豊小学校区（n=556）



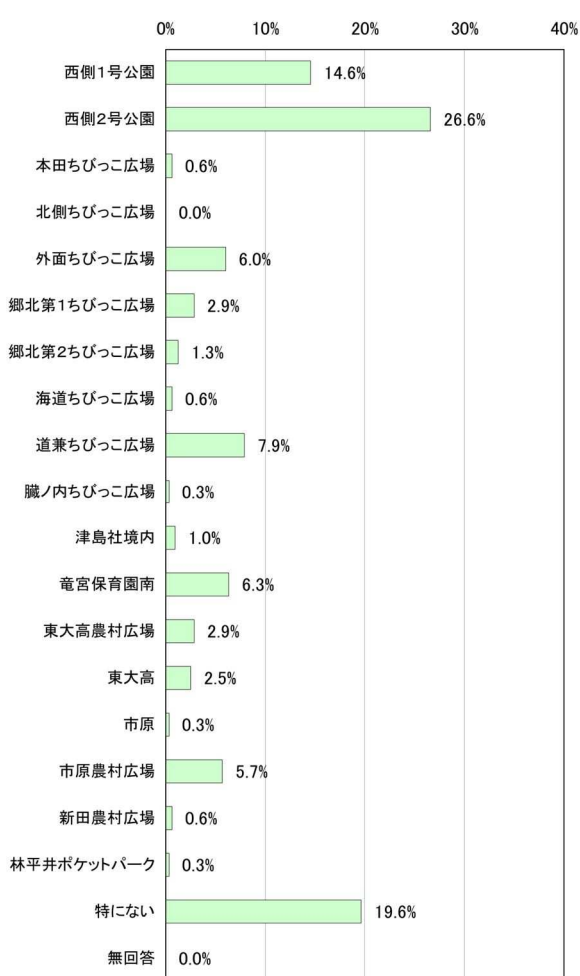
■緑丘小学校区（n=461）



■衣浦小学校区 (n=290)



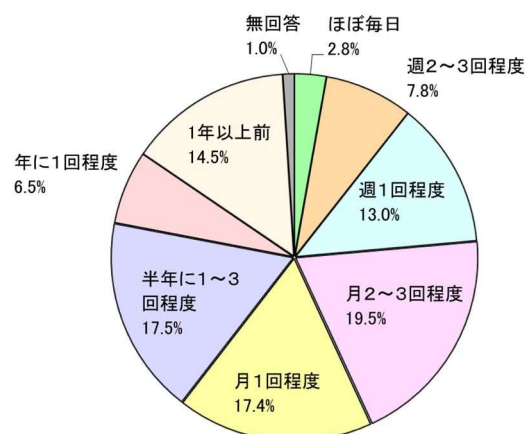
■富貴小学校区 (n=316)



利用する身近な公園は、街区公園が多く利用されている傾向にあります。一方で、ちびっこ広場や子どもの遊び場、ポケットパークなどのその他の公園は、一部を除き、全体的に利用者が少ない状況です。

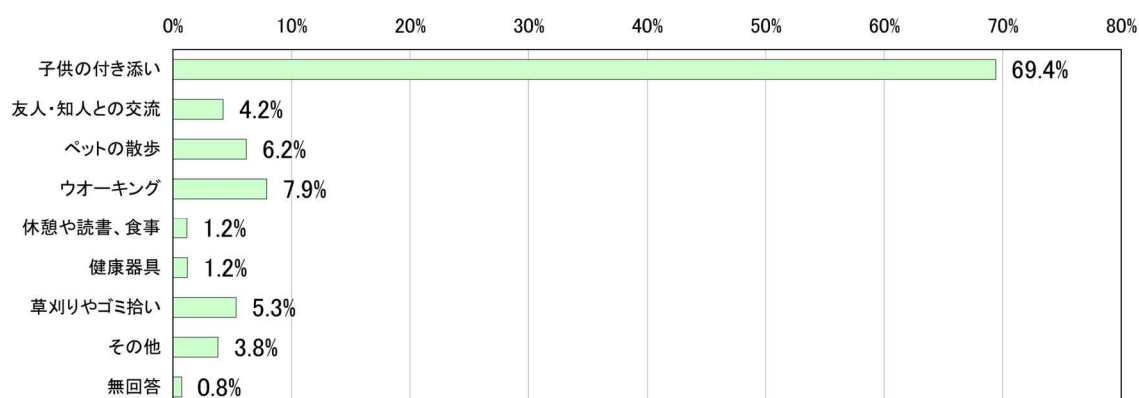
問3.公園の利用頻度を教えてください。

選択肢	件数	比率
1. ほぼ毎日	32	2.8%
2. 週2～3回程度	90	7.8%
3. 週1回程度	149	13.0%
4. 月2～3回程度	224	19.5%
5. 月1回程度	201	17.4%
6. 半年に1～3回程度	202	17.5%
7. 年に1回程度	74	6.5%
8. 1年以上前	166	14.5%
無回答	11	1.0%
計	1,149	100.0%



問4.公園の利用する際の主な目的を教えてください。

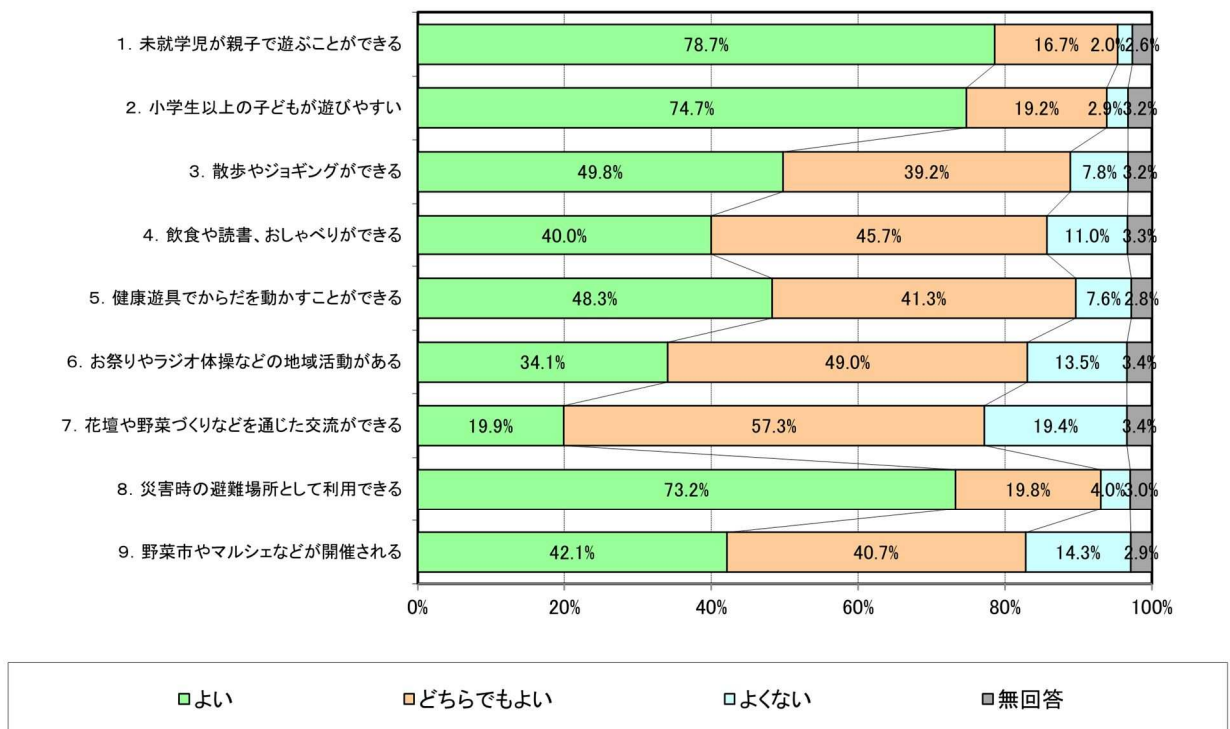
選択肢	件数	比率
1. 子供の付き添い	965	69.4%
2. 友人・知人との交流	59	4.2%
3. ペットの散歩	86	6.2%
4. ウォーキング	110	7.9%
5. 休憩や読書、食事	16	1.2%
6. 健康器具	17	1.2%
7. 草刈りやゴミ拾い	74	5.3%
8. その他	53	3.8%
無回答	10	0.8%
計	1,390	100.0%



回答者のうち、約7割が「子供の付き添い」と回答しています。次いで「ウォーキング」（7.9%）、「ペットの散歩」（6.2%）が続きました。

問5.あなたが利用すると回答した公園が、もっと利用されるように整備する場合、どのような特徴をもたせるとよいと思いますか。

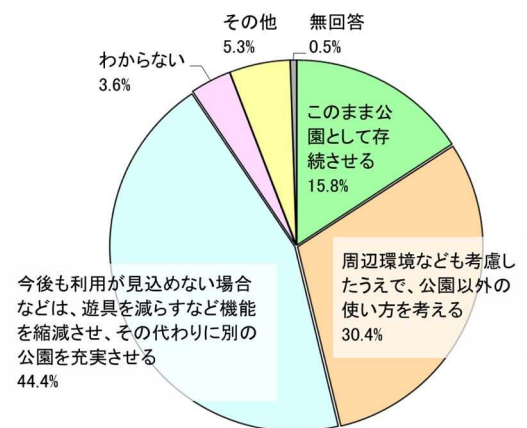
選択肢	よい		どちらでもよい		よくない		無回答	
	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率
1. 未就学児が親子で遊ぶことができる	902	78.7%	192	16.7%	23	2.0%	30	2.6%
2. 小学生以上の子どもが遊びやすい	858	74.7%	220	19.2%	33	2.9%	37	3.2%
3. 散歩やジョギングができる	571	49.8%	450	39.2%	90	7.8%	37	3.2%
4. 飲食や読書、おしゃべりができる	459	40.0%	525	45.7%	126	11.0%	38	3.3%
5. 健康遊具でからだを動かすことができる	555	48.3%	475	41.3%	87	7.6%	32	2.8%
6. お祭りやラジオ体操などの地域活動がある	391	34.1%	562	49.0%	155	13.5%	39	3.4%
7. 花壇や野菜づくりなどを通じた交流ができる	228	19.9%	657	57.3%	222	19.4%	39	3.4%
8. 災害時の避難場所として利用できる	842	73.2%	227	19.8%	46	4.0%	34	3.0%
9. 野菜市やマルシェなどが開催される	482	42.1%	466	40.7%	165	14.3%	33	2.9%



もっと利用されるように公園に持たせる特徴として「未就学児が親子で遊ぶことができる」(78.7%)、「小学生以上の子どもが遊びやすい」(74.7%)、「災害時の避難場所として利用できる」(73.2%)は「良い」の割合が他の回答より高い結果となり、子供が利用しやすい環境や、地域の安全・安心を支える機能へのニーズが高い傾向にあります。

問6.あまり利用されていない小さな公園の管理方針について、賛同する選択肢を教えてください。

選択肢	件数	比率
1. このまま公園として存続させる	182	15.8%
2. 周辺環境なども考慮したうえで、公園以外の使い方を考える	350	30.4%
3. 今後も利用が見込めない場合などは、遊具を減らすなど機能を縮減させ、その代わりに別の公園を充実させる	510	44.4%
4. わからない	41	3.6%
5. その他	61	5.3%
無回答	6	0.5%
計	1,150	100.0%

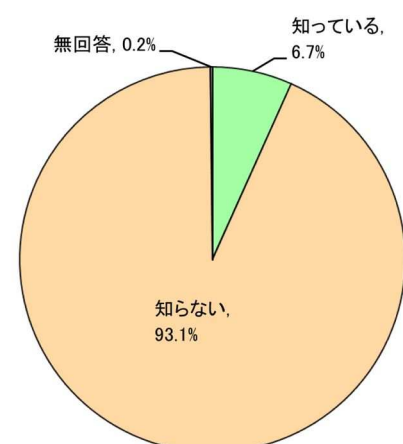


あまり利用されていない小さな公園の管理方針として、全体の4割が「今後も利用が見込めない場合などは、遊具を減らすなど機能を縮減させ、その代わりに別の公園を充実させる」、全体の3割が「周辺環境なども考慮したうえで、公園以外の使い方を考える」と回答しました。利用率の低い公園に関しては、機能や用途について効率的な活用が求められている傾向にあります。

【身近な公園の維持管理について】

問7.武豊町で導入しているアダプトプログラム（里親制度）を知っていますか？

選択肢	件数	比率
1. 知っている	77	6.7%
2. 知らない	1,072	93.1%
無回答	2	0.2%
計	1,151	100.0%

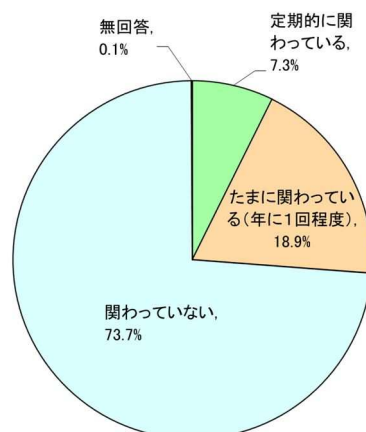


アダプトプログラム（里親制度）について、9割以上が「知らない」と回答しました。

【身近な公園の維持管理について】

問8.普段、身近な公園で草むしりやゴミ拾いなど、維持管理に関わる機会がありますか？

選択肢	件数	比率
1. 定期的に関わっている	84	7.3%
2. たまに関わっている（年に1回程度）	217	18.9%
3. 関わっていない	847	73.7%
無回答	1	0.1%
計	1,149	100.0%

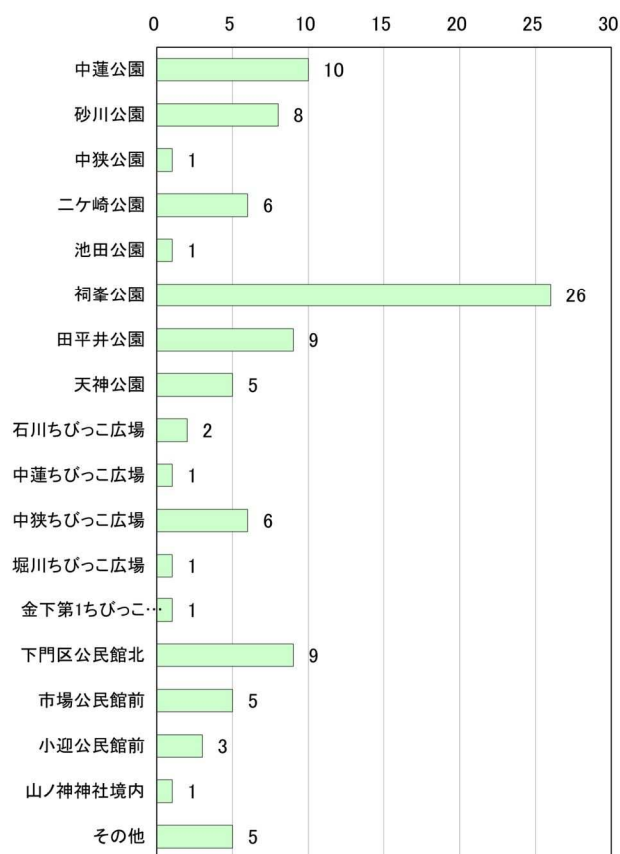


維持管理に関わる機会は、「定期的に関わっている」

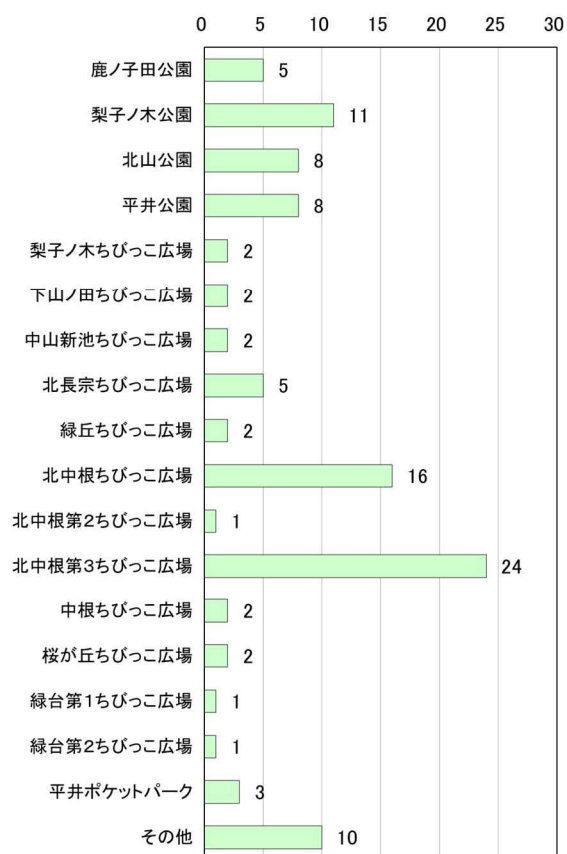
（7.3%）「たまに関わっている（年に1回程度）」（18.9%）となり、約3割の方が関わりを持っている一方、「関わっていない」が7割以上を占める結果となりました。

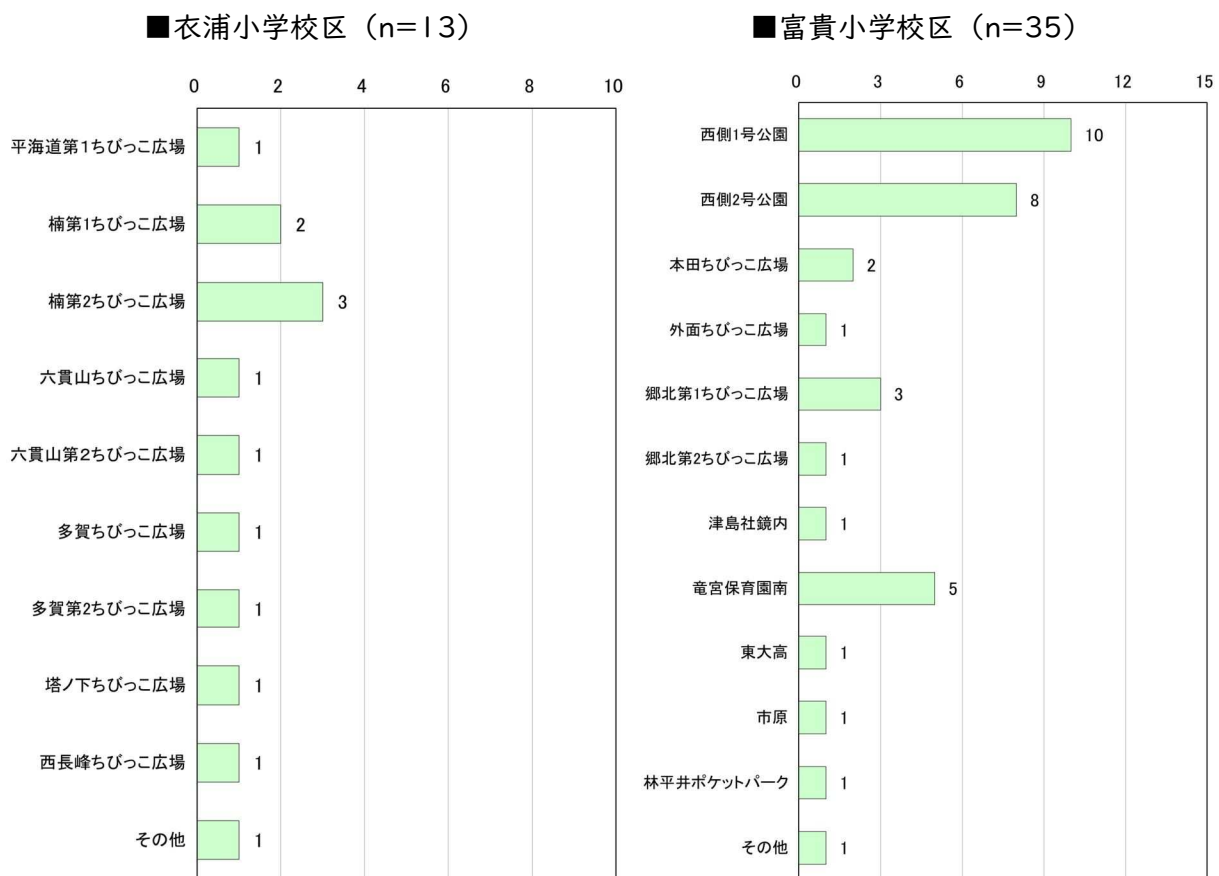
1.2と回答した方は、具体的な公園名を教えてください。（自由記述）

■武豊小学校区（n=100）



■緑丘小学校区（n=105）

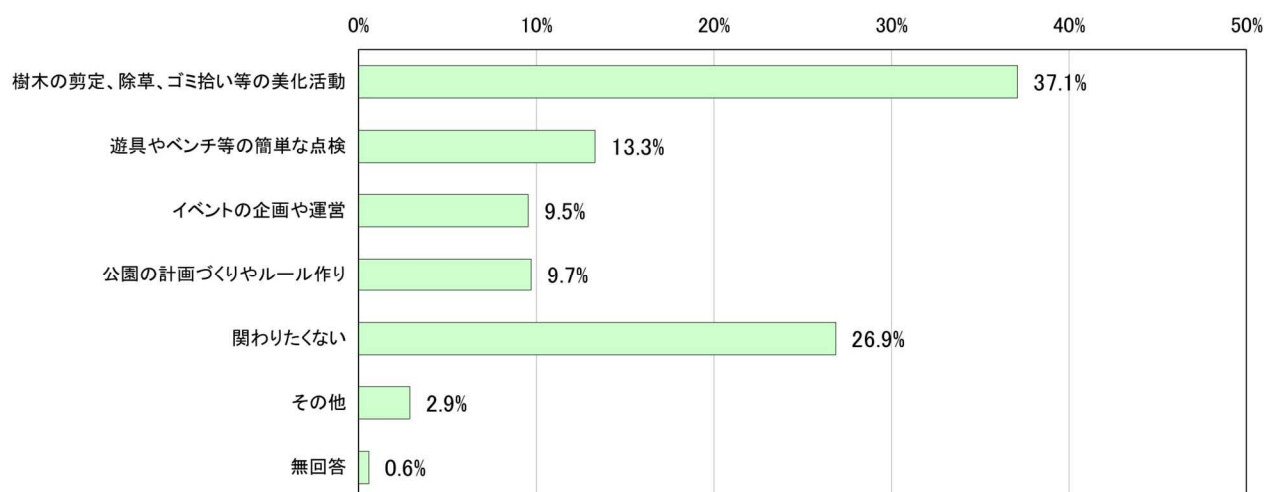




維持管理に関わる機会がある公園は、祠峯公園（26名）が最も多く、次いで北中根第3ちびっこ広場（24名）、北中根ちびっこ広場（16名）が多い結果となりました。

問9.身近な公園がより魅力的な場所となるように、あなたが関わっていききたい維持管理の活動としてはどのようなものがありますか。（複数回答可）

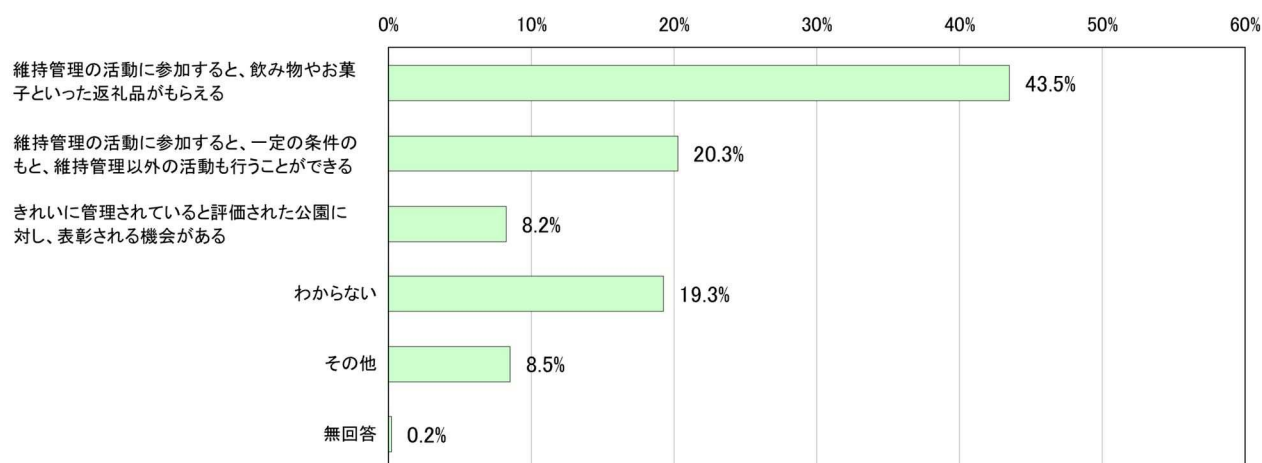
選択肢	件数	比率
1. 樹木の剪定、除草、ゴミ拾い等の美化活動	529	37.1%
2. 遊具やベンチ等の簡単な点検	190	13.3%
3. イベントの企画や運営	136	9.5%
4. 公園の計画づくりやルール作り	139	9.7%
5. 関わりたくない	383	26.9%
6. その他	41	2.9%
無回答	8	0.6%
計	1,426	100.0%



関わっていききたい活動について、「樹木の剪定、除草、ゴミ拾い等の美化活動」（37.1％）が最も多い結果となりました。一方で、「関わりたくない」（26.9％）という回答が次いで多く、一定数の人々が活動への参加に消極的であることがわかります。

問10.どのような仕組みがあれば、より維持管理の活動に参加する人や団体が増えると思いますか。（複数回答可）

選択肢	件数	比率
1. 維持管理の活動に参加すると、飲み物やお菓子といった返礼品がもらえる	612	43.5%
2. 維持管理の活動に参加すると、一定の条件のもと、維持管理以外の活動も行いうことができる	285	20.3%
3. きれいに管理されていると評価された公園に対し、表彰される機会がある	116	8.2%
4. わからない	271	19.3%
5. その他	120	8.5%
無回答	3	0.2%
計	1,407	100.0%

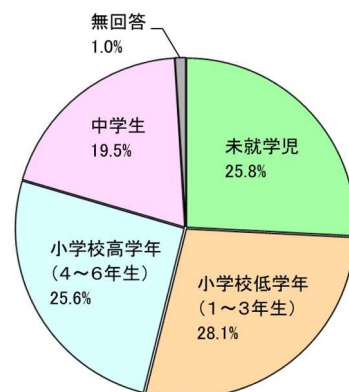


より維持管理の活動に参加する人や団体が増えると思う仕組みについて、「維持管理の活動に参加すると、飲み物やお菓子といった返礼品がもらえる」（43.5%）が最も多い結果となりました。次いで、「一定の条件のもと維持管理以外の活動も行える」（20.3%）が続き、インセンティブ（返礼品や活動の多様化）などの仕組みが有効であることが伺えます。

【身近な公園でのあそびや遊具の利用状況】

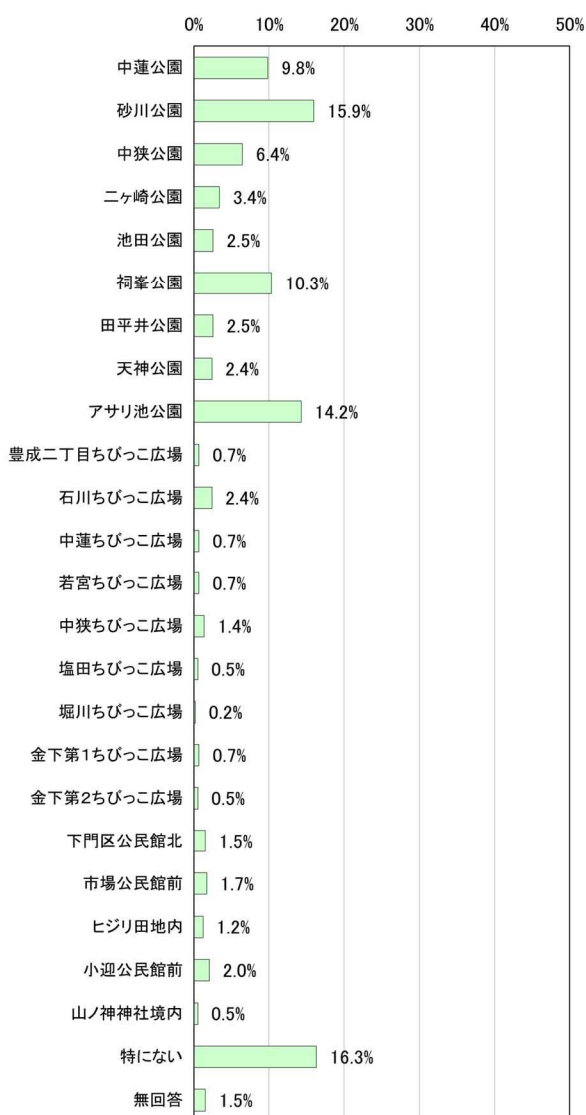
問11.一緒に回答されているお子さんまたはお孫さんの年齢層を教えてください。

選択肢	件数	比率
1. 未就学児	297	25.8%
2. 小学校低学年（1～3年生）	323	28.1%
3. 小学校高学年（4～6年生）	295	25.6%
4. 中学生	225	19.5%
無回答	11	1.0%
計	1,151	100.0%

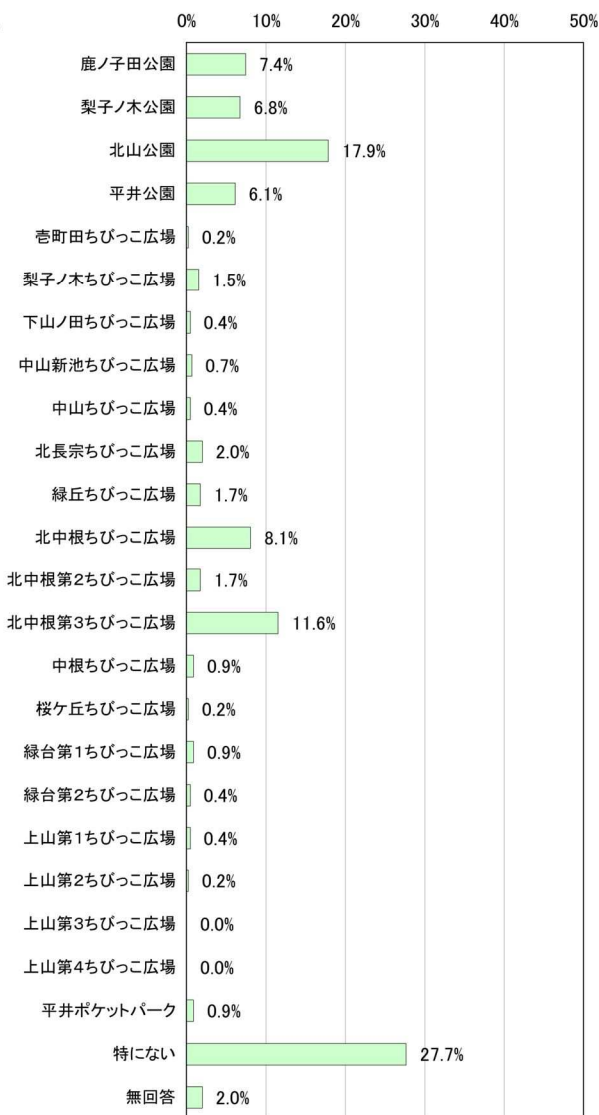


問12.よく利用する身近な公園を教えてください。（3つまで）

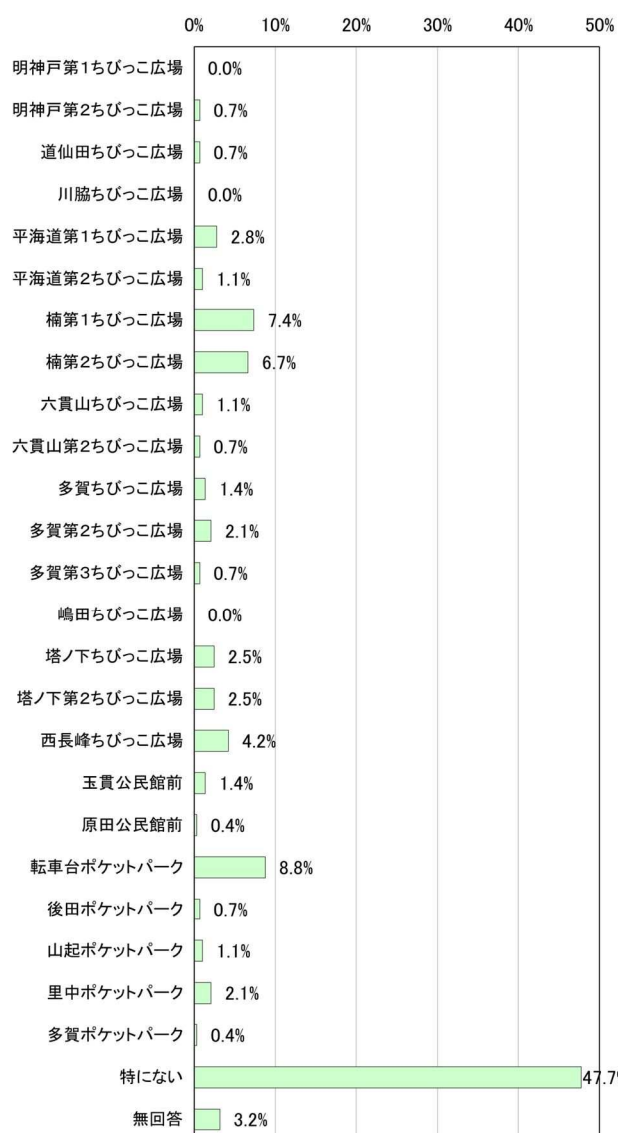
■武豊小学校区（n=556）



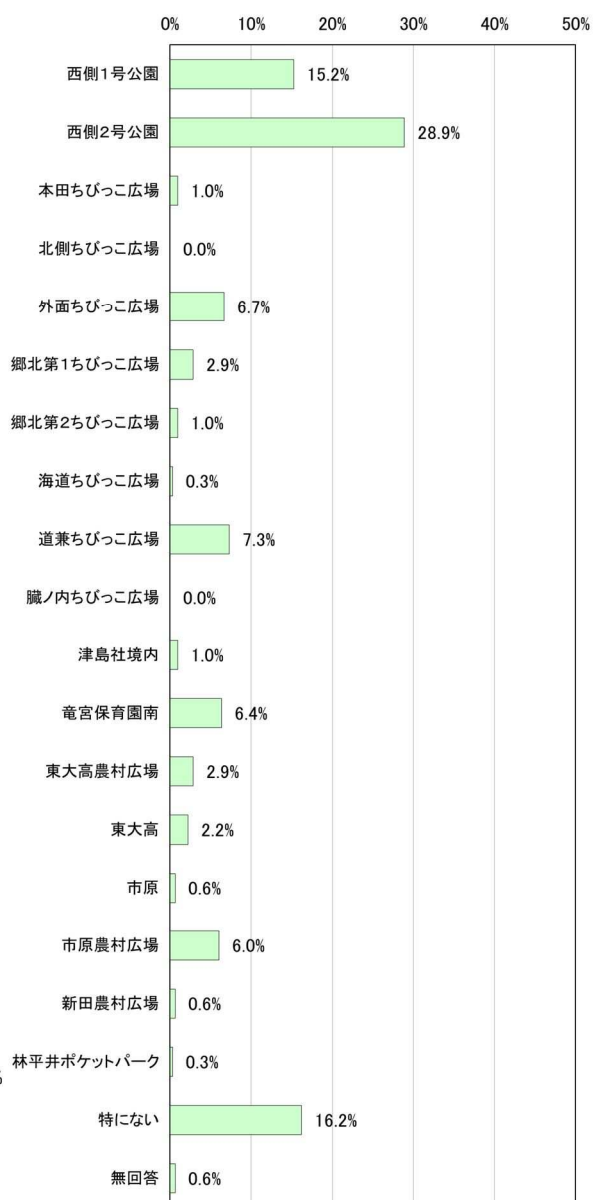
■緑丘小学校区（n=459）



■衣浦小学校区 (n=285)



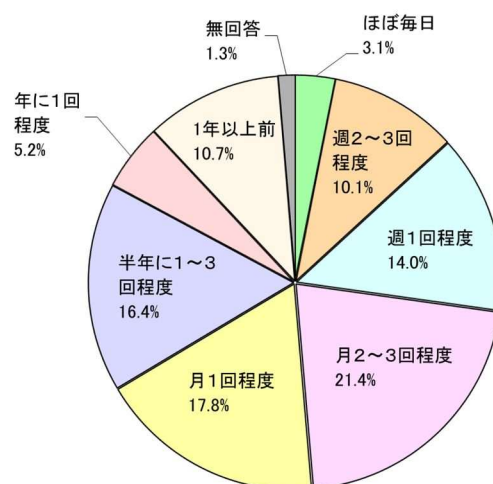
■富貴小学校区 (n=315)



「問2. あなたが利用する身近な公園を教えてください」の設問同様、お子さんに関しても街区公園を多く利用する傾向にあり、ちびっこ広場や子どもの遊び場、ポケットパークなどのその他の公園は、街区公園と比較すると全体的に利用者が少ない状況です。

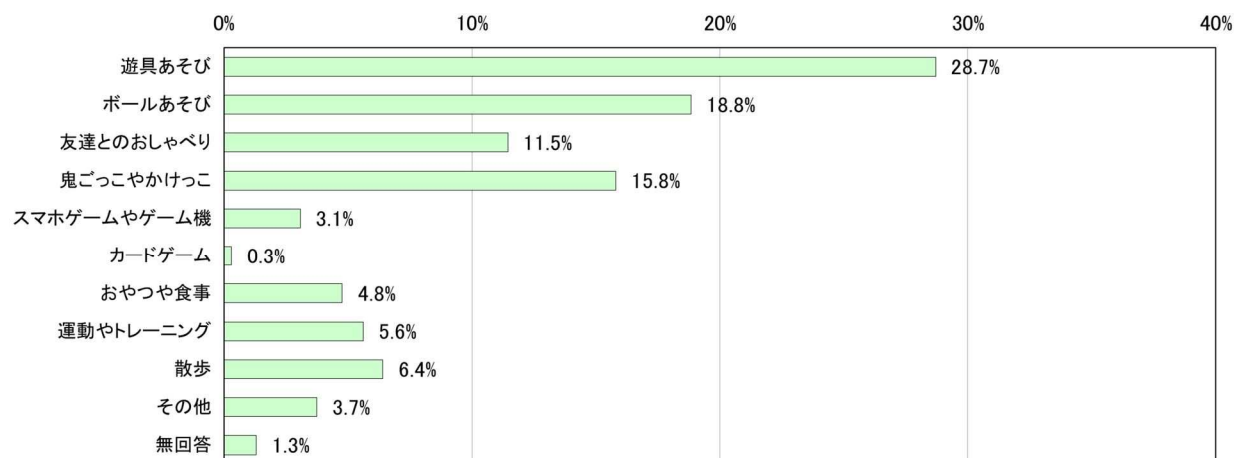
問13.公園の利用頻度を教えてください。

選択肢	件数	比率
1. ほぼ毎日	36	3.1%
2. 週2～3回程度	115	10.1%
3. 週1回程度	160	14.0%
4. 月2～3回程度	245	21.4%
5. 月1回程度	203	17.8%
6. 半年に1～3回程度	187	16.4%
7. 年に1回程度	60	5.2%
8. 1年以上前	122	10.7%
無回答	15	1.3%
計	1,143	100.0%



問14.普段公園でどんなことをしますか。

選択肢	件数	比率
1. 遊具あそび	643	28.7%
2. ボールあそび	423	18.8%
3. 友達とのおしゃべり	257	11.5%
4. 鬼ごっこやかけっこ	355	15.8%
5. スマホゲームやゲーム機	69	3.1%
6. カードゲーム	7	0.3%
7. おやつや食事	107	4.8%
8. 運動やトレーニング	126	5.6%
9. 散歩	144	6.4%
10. その他	84	3.7%
無回答	30	1.3%
計	2,245	100.0%



公園での主な活動について、「遊具遊び」（28.7%）が最も多い結果となりました。次いで、「ボール遊び」（18.8%）や「鬼ごっこやかけっこ」（15.8%）が続き、「友達とのおしゃべり」（11.5%）も一定の割合を占めています。一方で、「スマホゲームやゲーム機」（3.1%）や「カードゲーム」（0.3%）といったデジタルや室内型の活動の割合は低く、公園では身体を動かす遊びや対面での交流が中心であることがわかります。

4. 身近な公園の評価分析

4.1 評価指標の設定

身近な公園の現況評価を行うため、公園単体の機能に着目した「現況タイプ評価」と周辺環境や利用状況に着目した「利用環境評価」の2つの観点から評価指標を設定しました。

4.1.1 現況タイプ評価の指標

現況タイプ評価を行う上で、公園面積、遊戯施設数、東屋やパーゴラ等休憩施設の設置状況をもとに公園を以下のタイプに分類しました。

遊具型 …遊戯施設が3種類以上ある公園

広場型 …遊戯施設が3種類未満の公園

あそび型…遊戯施設が3種類以上あり、遊具広場と独立して広場がある公園

憩い型 …東屋やパーゴラ等日よけ空間がある公園

総合型 …あそび型+憩い型

ポケットパーク…あそび空間のないポケットパーク

さらに、町の街区公園のうち、最小面積である西側1号公園の面積を参考に1,000㎡以上の公園を「街区クラス」、1,000㎡未満の公園を「狭小クラス」と定義しました。

上記の指標に基づき、各公園の現況タイプを分類した結果は下表のとおりです。

現況タイプ	公園数
街区クラス（1,000㎡以上）	25公園
広場型	6公園
あそび型	4公園
憩い型	2公園
遊具・憩い型	1公園
総合型	12公園
狭小クラス（1,000㎡未満）	59公園
遊具型	16公園
広場型	39公園
あそび型	1公園
憩い型	2公園
遊具・憩い型	1公園
ポケットパーク	4公園

※身近な公園以外の8公園（熊野池公園、武豊中央公園、鹿狩池公園、別曾池公園、武豊総合公園、臨海緑地、北浜緑地、自然公園）は、原則現状維持またはさらなる魅力の充実を図ることとするため、分析対象外とします。（p15参照）

4.1.2 利用環境評価の指標

利用環境評価をするにあたり、公園誘致圏内の人口、まちづくりとの整合性、利用率の項目から評価を実施しました。

(1) 公園誘致圏の考え方

公園誘致圏は、対象の公園が街区公園及び、ちびっこ広場等小規模な公園であることから、街区公園の標準的な誘致距離とされている 250m としました。

種類	種別	内容
住区基幹公園	街区公園	もっぱら街区に居住する者の利用に供することを目的とする公園で誘致距離 250m の範囲内で 1 箇所当たり面積 0.25ha を標準として配置する。
	近隣公園	主として近隣に居住する者の利用に供することを目的とする公園で近隣住区当たり 1 箇所を誘致距離 500m の範囲内で 1 箇所当たり面積 2 ha を標準として配置する。
	地区公園	主として徒歩圏内に居住する者の利用に供することを目的とする公園で誘致距離 1 km の範囲内で 1 箇所当たり面積 4 ha を標準として配置する。都市計画区域外の一定の町村における特定地区公園（カントリーパーク）は、面積 4 ha 以上を標準とする。



(2) まちづくりとの整合性の考え方

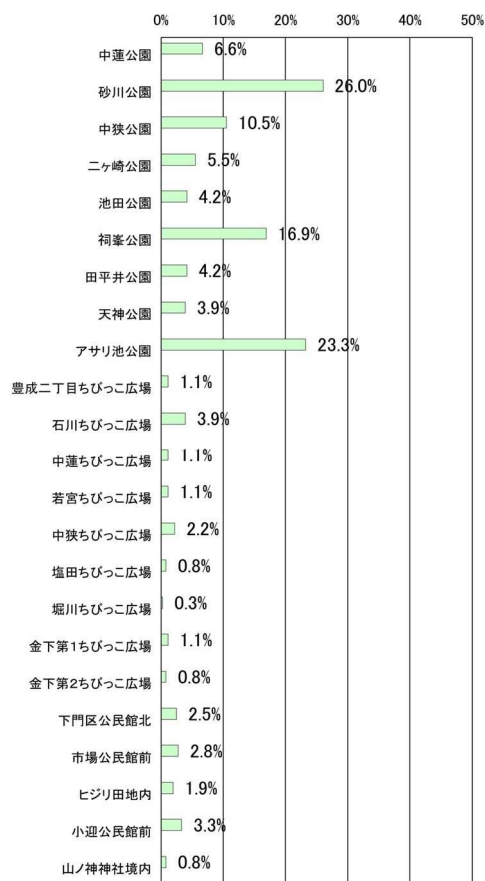
まちづくりとの整合性に関しては、対象公園が市街化区域に位置するか否かで評価を行いました。

(3) 利用率の考え方

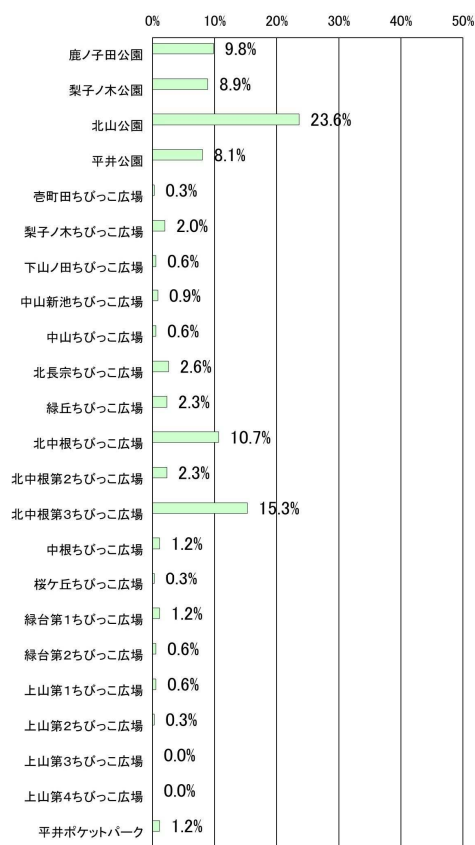
利用率は、町民アンケート調査 問12.の結果をもとに以下のように算出しました。また、利用率を可視化するために下表のように利用率に応じて区分を設定しました。

$$\text{利用率} = \frac{\text{対象公園を利用すると回答した数}}{\text{回答者数（小学校区ごと）}}$$

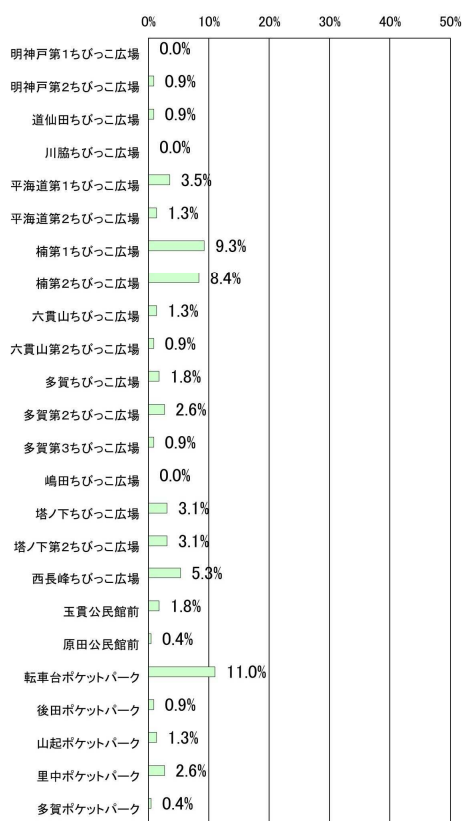
利用率		公園数
点数		88公園
0 点	1 %未満	28公園
1 点	1 ～ 3 %未満	30公園
2 点	3 %～ 7 %未満	11公園
3 点	7 %～ 15 %未満	12公園
4 点	15%以上	7 公園



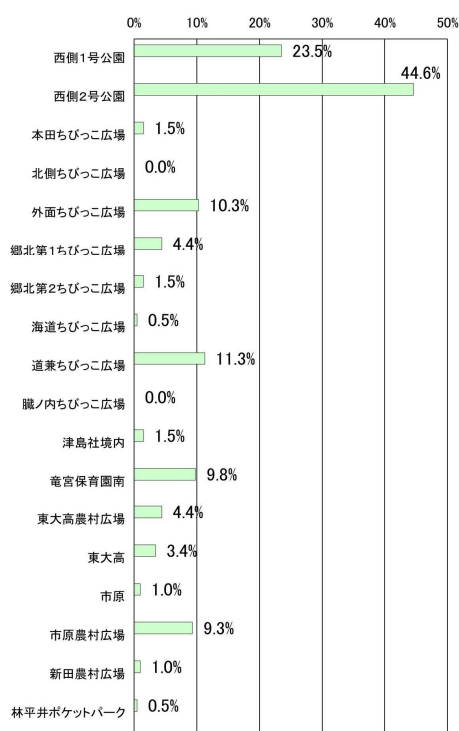
【武豊小学校区】



【緑丘小学校区】



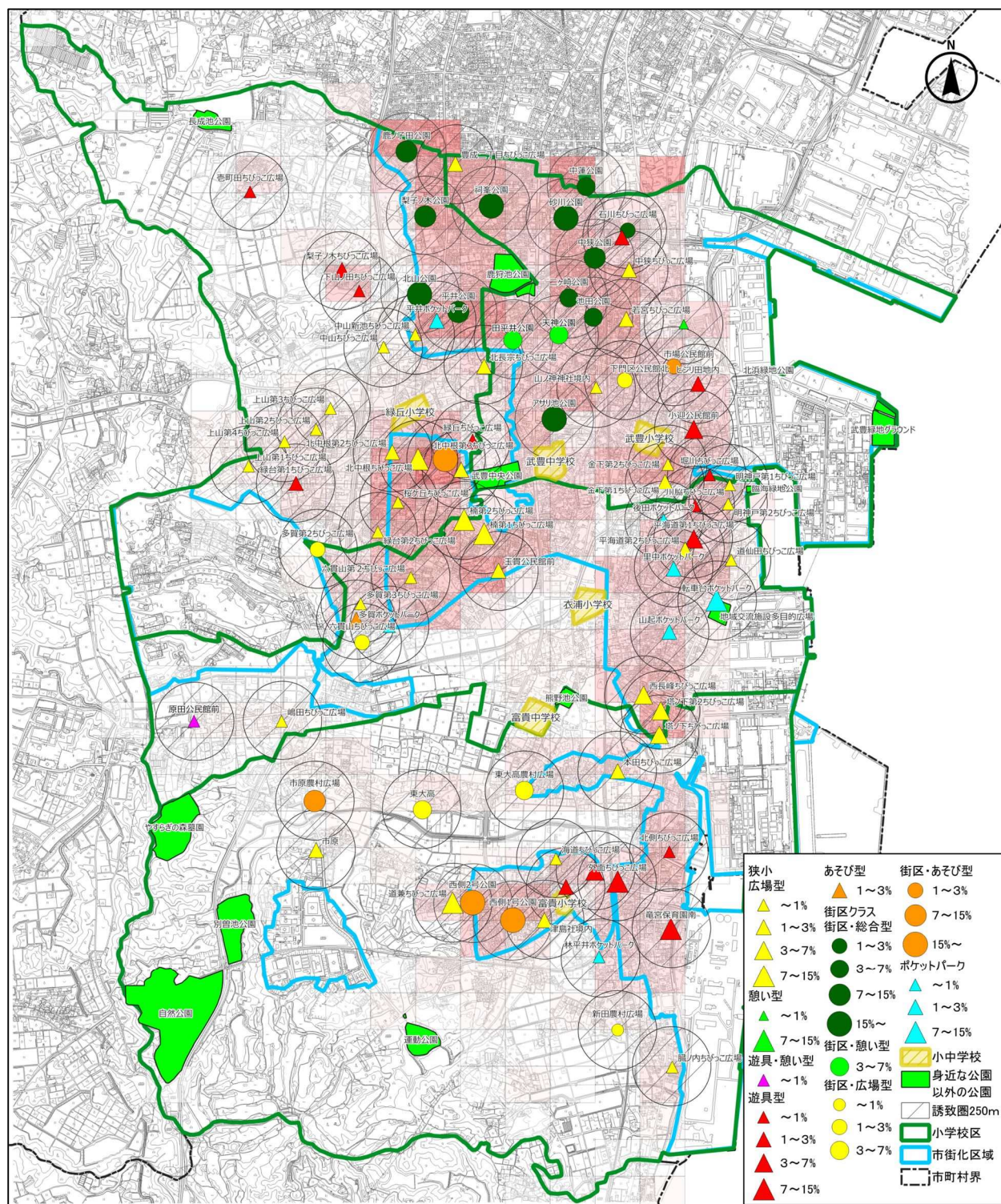
【衣浦小学校区】



【富貴小学校区】

4.1.3 身近な公園の現況評価結果

前項で設定した指標をもとに評価を行った結果は下図のとおりです。



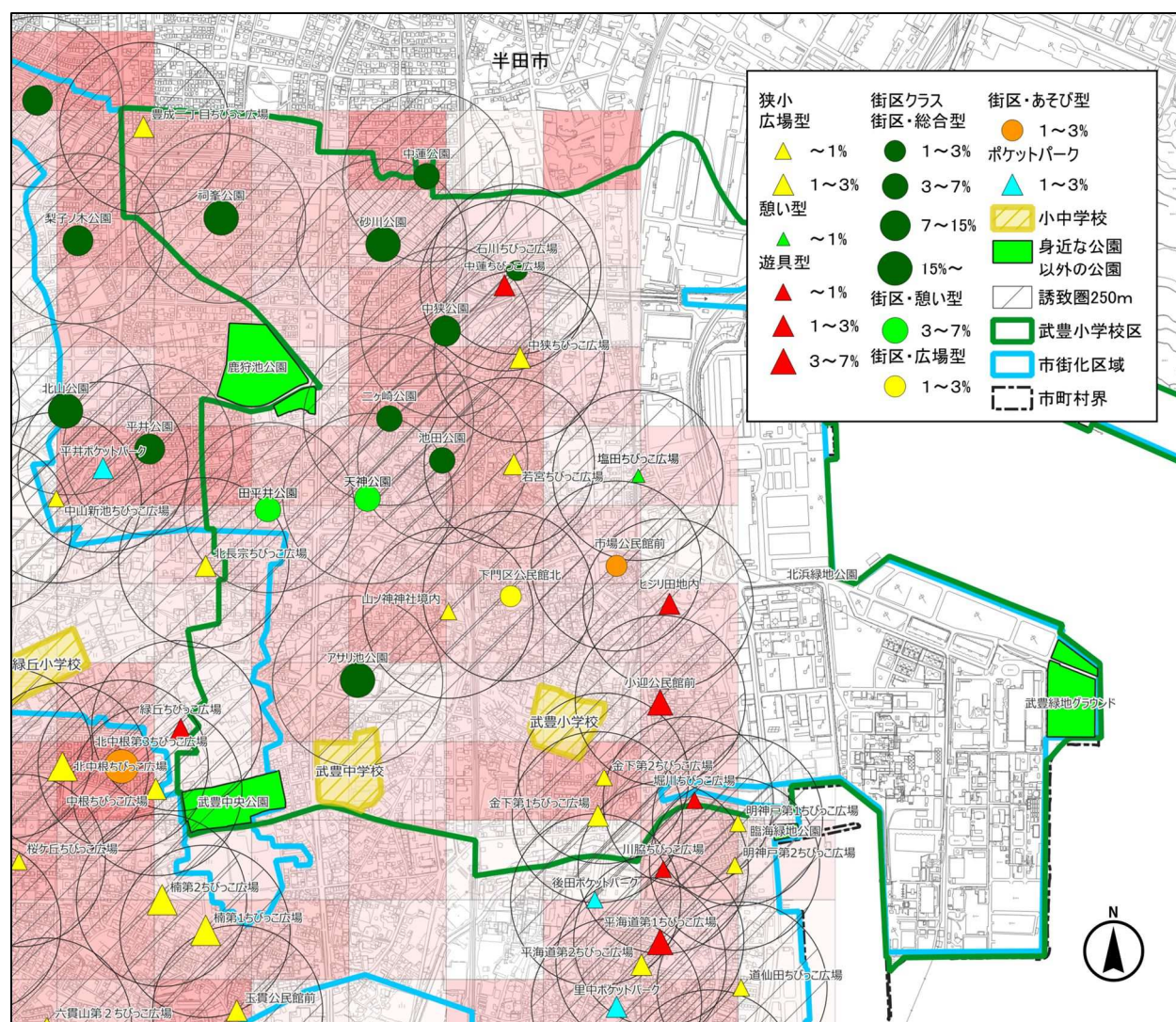
4.2 現況評価結果の分析

4.2.1 小学校区ごとの特徴

身近な公園の現況評価の結果、配置バランスや利用率等明らかになった点を小学校区ごとにまとめました。

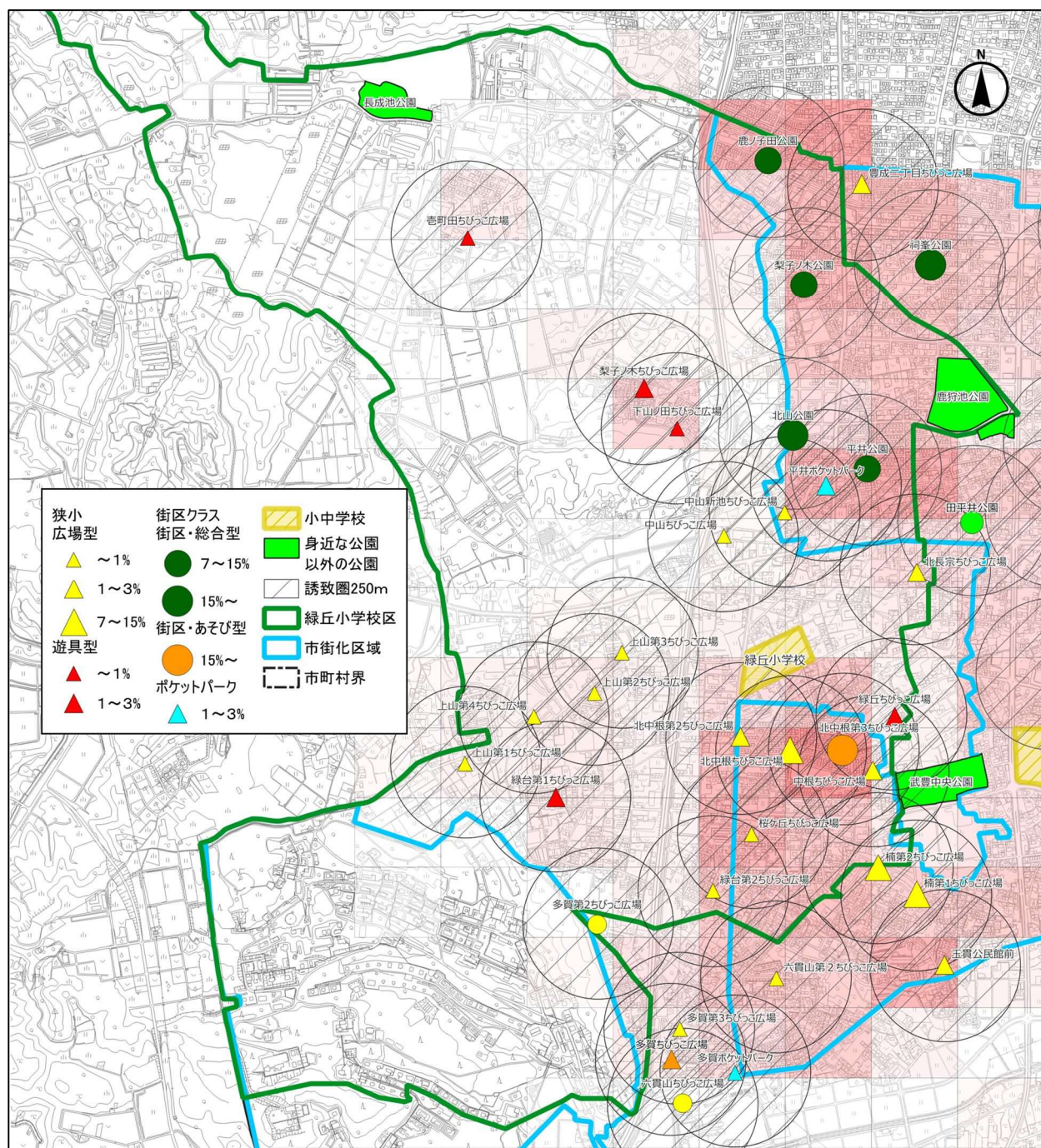
(1) 武豊小学校区

- ・北側に街区クラスの公園が集中しており利用率も高い。
- ・他タイプの公園と比較して広場型の公園の利用率が低い。



(2) 緑丘小学校区

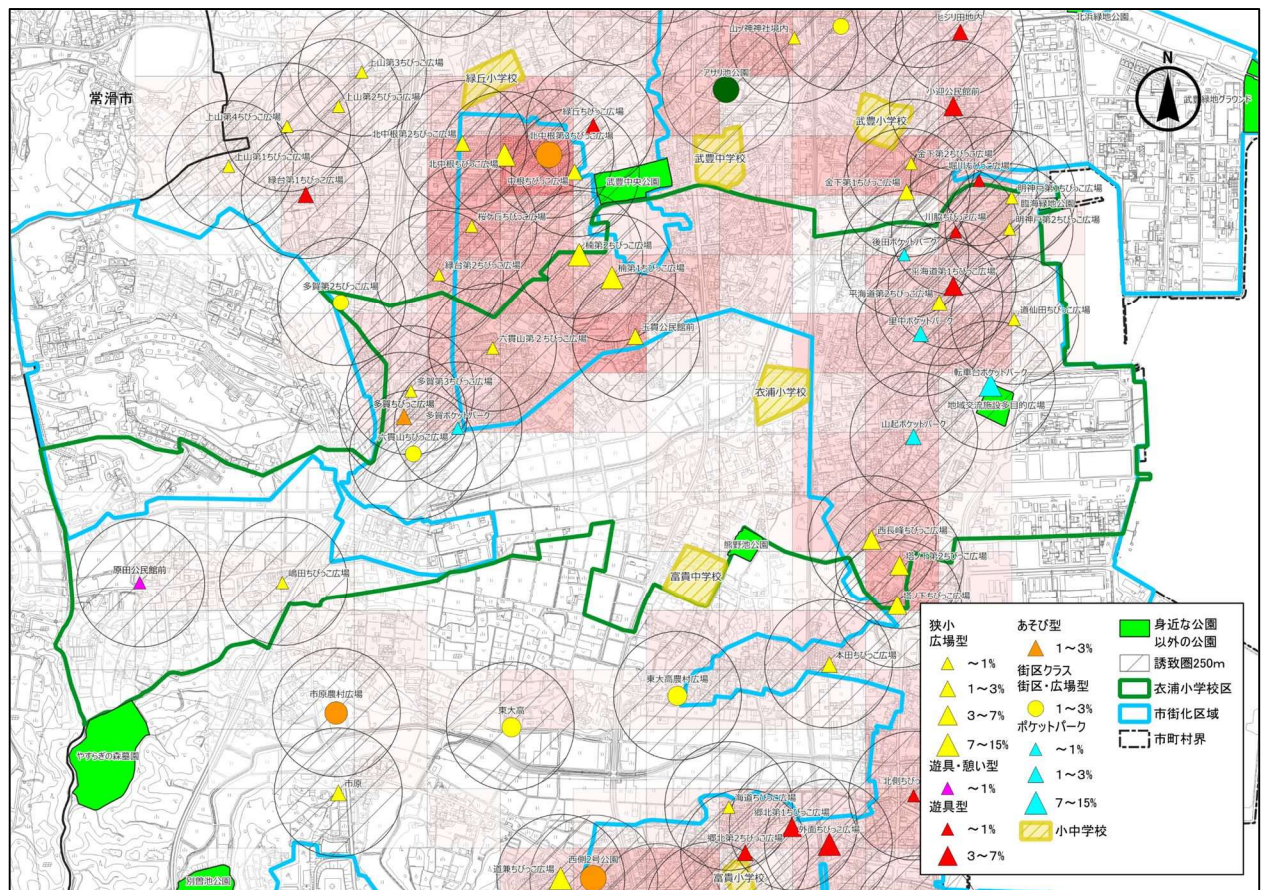
- ・ 北東側に街区クラスの公園が集中しており利用率も高い。
- ・ 西側、南側に広場型の公園が集中している。



【緑丘小学校区】

(3) 衣浦小学校区

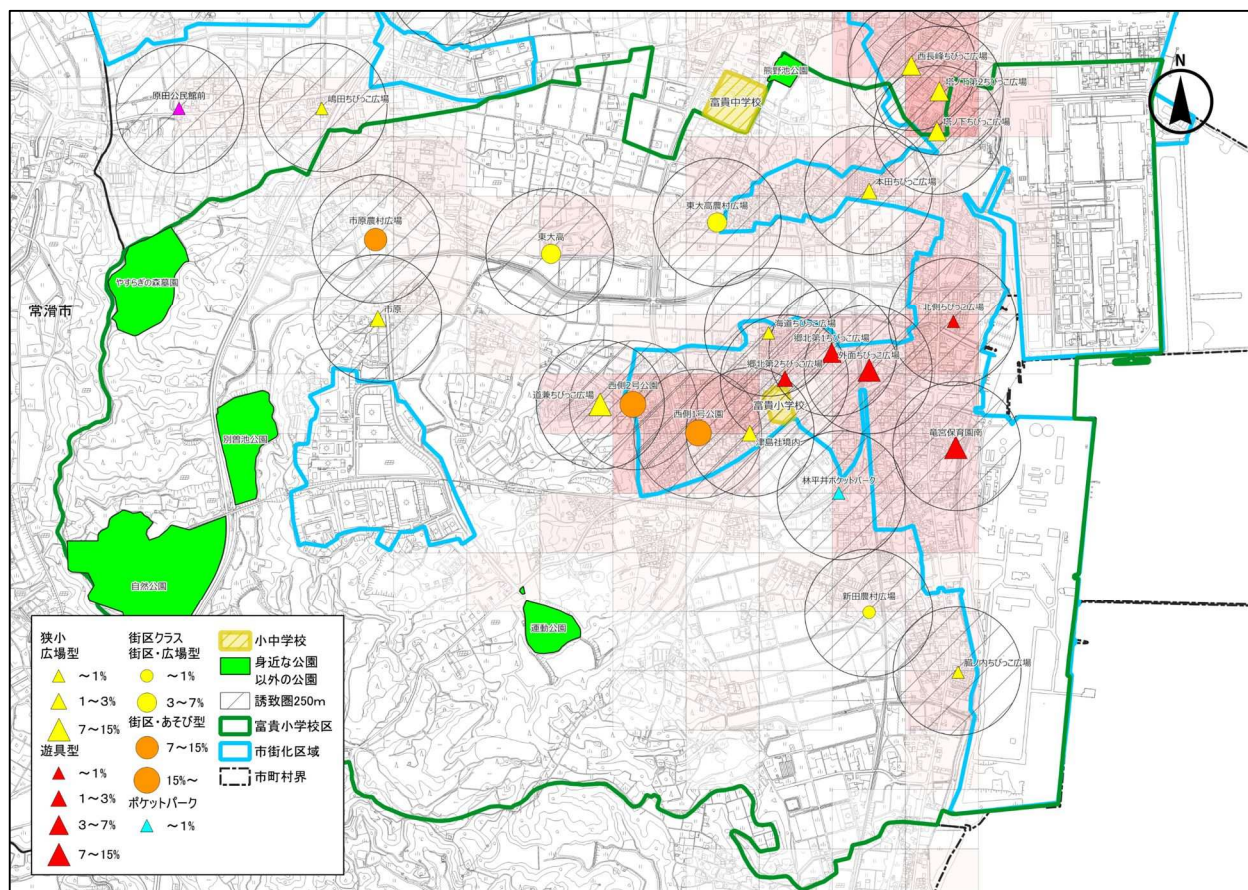
- ・街区クラスの面積をもつ公園が1箇所のみであり、面積の小さい公園が多い。
- ・狭小クラスの広場型の公園が密集しているエリアがある。



【衣浦小学校区】

(4) 富貴小学校区

- ・ 総合型の公園が1箇所もない。
- ・ 富貴小学校周辺の利用率が高い。
- ・ 東側に狭小クラスで遊具型の公園が密集している。



【富貴小学校区】

4.2.2 分析結果まとめ

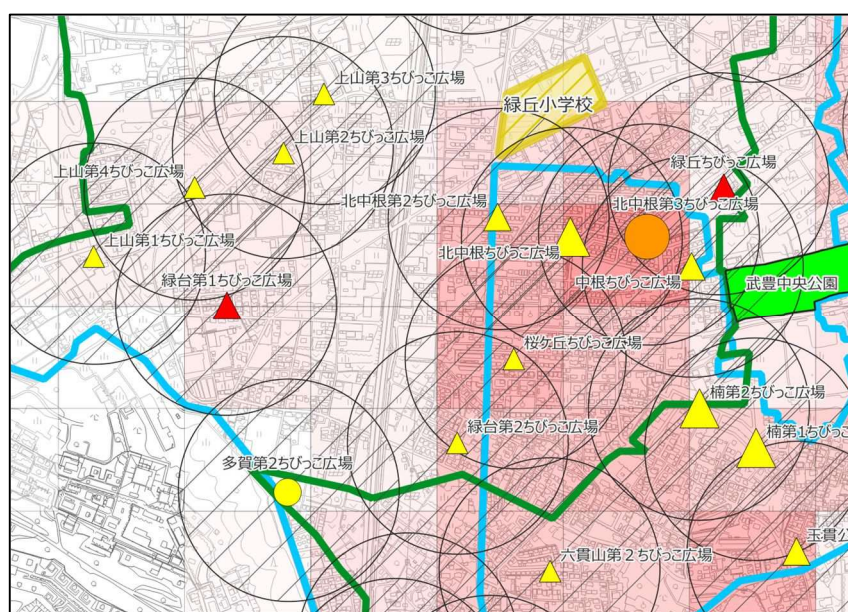
現況評価から見てきた本町が抱える身近な公園の課題は下記のとおりです。

(1) 利用率の低さ

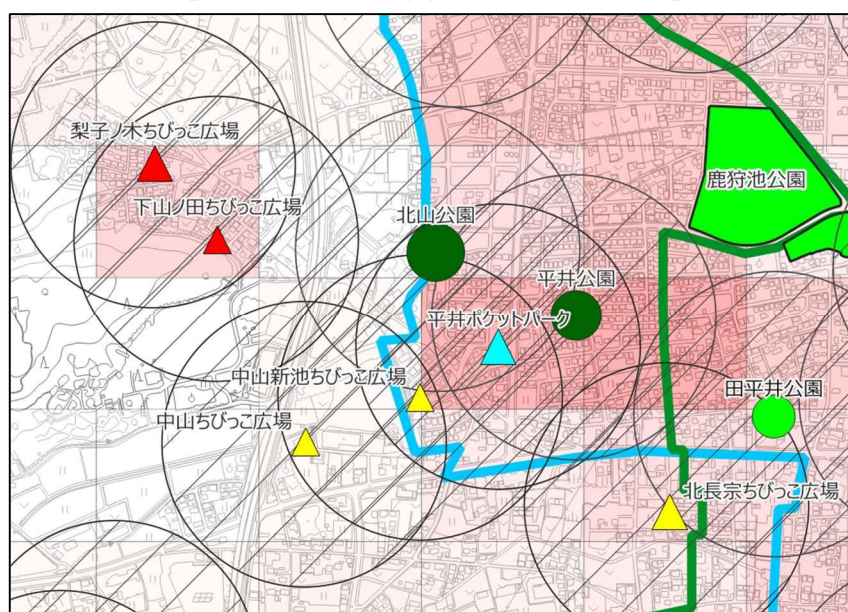
分析対象である88公園のうち約7割の公園が利用率3%未満、と利用率の低い公園が多いことが分かります。また、北山公園や祠峯公園といった街区公園などの利用は一定数見られるものの、狭小クラスの公園の利用率の低さが目立っています。

(2) 配置バランスの偏り

誘致圏内に同分類となる公園が集中しているケースが多く見られます。その結果、公園の個性を感じられず、利用率の低さを招いていると考えられます。



【同じタイプの公園が集中するエリア】



【複数タイプの公園が配置されているエリア】

4.3 維持管理の課題分析

4.3.1 公園管理の現状

(1) 維持管理施設内訳

再編の対象となる公園種別ごとの公園数や面積等は、下表のとおりです。

また、維持管理については、どの公園も草刈り、樹木剪定が大きな割合を占めています。

【公園施設内訳表】

公園の種別	公園数	面積	遊戯施設数
都市公園	22 公園	245,301 m ²	82 施設
街区公園	15 公園	43,256 m ²	65 施設
近隣公園	2 公園	51,000 m ²	5 施設
地区公園	1 公園	43,019 m ²	8 施設
総合公園/都市緑地	4 公園	108,026 m ²	4 施設
その他公園	74 公園	286,312 m ²	123 施設
ちびっこ広場	52 公園	27,057 m ²	90 施設
子供の遊び場	14 公園	15,544 m ²	27 施設
ポケットパーク	7 公園	3,711 m ²	0 施設
自然公園	1 公園	240,000 m ²	6 施設
計	96 公園	531,613 m ²	205 施設

(2) 町民協働による維持管理

公園などの維持管理活動を推進する取り組みとして、祠峯公園等でアダプトプログラムを導入し、ゴミ拾いや草取り等の美化活動に加え、地域コミュニティ活性化を目的としたイベントの開催等を支援しています。



【アダプトプログラムによる活動の様子(祠峯公園)】

武豊町公共施設アダプトプログラム実施要綱

(目的)

第1条 この要綱は、地域にとって重要な公共空間である公園、緑地、広場、花壇等の公共施設（以下「公園等」という。）の美化及び保全等のため、町民が公園等の里親となつて、ボランティアで管理するアダプトプログラム（公共施設の里親制度）を実施し、環境美化に対する町民意識の高揚を図るとともに、町民と町が一体となった公園等の環境美化活動を推進することを目的とする。

(届出)

第2条 公園等の里親になろうとする個人又は団体（以下「町民等」という。）は、自ら公園等の管理区域を定め、町長に養子縁組届（様式第1）を提出するものとする。

2 里親を辞退する場合は、里親辞退届（様式第3）を町長へ提出するものとする。

(合意書の交換)

第3条 町長は、前条第1項の届出があった場合、その内容が適切であると認めるときは、町民等と合意書（様式第2）を取り交わすものとする。

(里親の役割)

第4条 里親が行う公園等の環境美化活動の内容は、次に掲げるものとする。

- (1) 管理区域内の空き缶や吸殻等の散乱ごみの収集
- (2) 管理区域内の除草
- (3) 情報の提供
- (4) その他公園等の環境美化に必要な活動

(町役の役割)

第5条 町長は、里親の活動に対し、次に掲げる事項を行うものとする。

- (1) 環境美化活動に必要なごみ袋の支給
- (2) アダプトサイン（里親の名称表示板）の設置
- (3) その他活動に必要な事項

2 里親が公園等環境美化活動中に被った傷害や第三者への賠償責任については、原則として町で加入している「武豊町町民活動災害補償制度」又は「町民総合賠償補償保険」等にて対応し、これを補償又は賠償するものとする。

3 第3条の合意書を取り交わした町民等が、武豊町以外の者の管理する公共施設を管理区域とするときは、町長は、当該公共施設の管理者へ通知するものとする。

(庶務)

第6条 アダプトプログラムに関する庶務は、建設部都市計画課において処理する。

(その他)

第7条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は別に町長が定めるものとする。

附 則 この要綱は、平成22年6月1日から施行する。

この要綱は、令和3年4月1日から施行する。

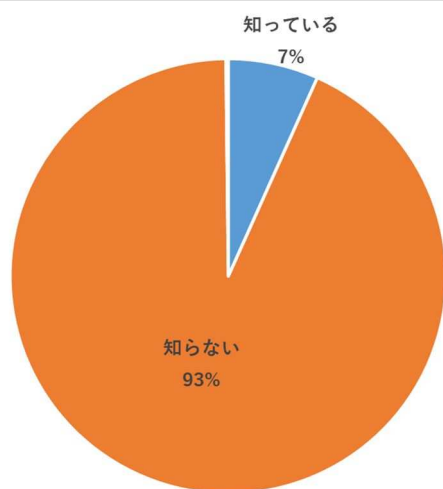
a) 参加団体数

武豊町において現在、アダプトプログラム登録し公園管理を行っている団体（個人含む）は、武豊中央公園、祠峯公園、金下第1ちびっこ広場、平井ポケットパーク、嶋田ちびっこ広場の5団体のみであり、制度の普及に課題を抱えています。

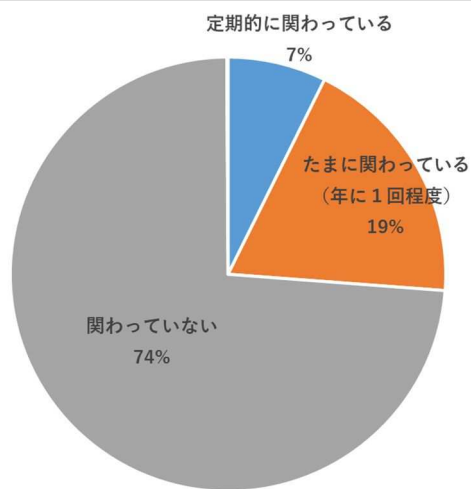
b) アンケート結果

利用実態調査にて実施した町民アンケートより、住民の維持管理参加に関わるアンケート結果及び概要は以下のとおりです。

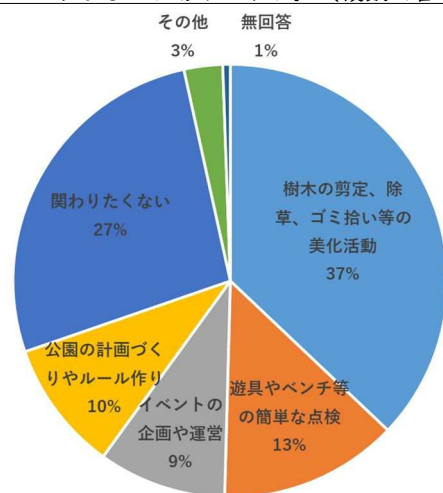
問7.武豊町で導入しているアダプトプログラム（里親制度）を知っていますか？



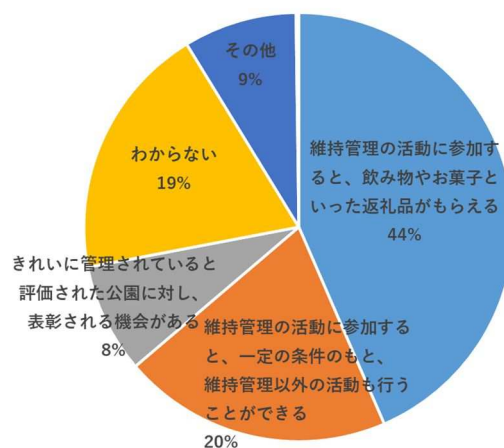
問8.普段、身近な公園で草むしりやゴミ拾いなど、維持管理に関わる機会がありますか？



問9.身近な公園がより魅力的な場所となるように、あなたが関わっていききたい維持管理の活動としてはどのようなものがありますか。（複数回答可）



問10.どのような仕組みがあれば、より維持管理の活動に参加する人や団体が増えると思いますか。（複数回答可）



- ・ アダプトプログラムの認知度は全体の1割以下、と非常に低い。
- ・ 約75%の住民が公園の維持管理活動に全く関わっていない
- ・ 維持管理の活動に参加する人や団体が増える条件として、返礼品や公園内での活動許可等、インセンティブがある回答を選択した人が72%であった。

(3) アダプトプログラムの見直し

現在、アダプトプログラムを採用している公園数は5公園であり、アンケート結果からもアダプトプログラムの認知が低い状況にあります。

そこで、アダプトプログラムを周知することや、町民の意見を取り入れながら、より町民が参加しやすい仕組みづくりを目指すとともに、他自治体の事例を参考にしながらアダプトプログラムの見直しを検討します。

5. 公園再編計画

5.1 基本方針

本町では現在、地域によって公園のある環境は多様であり、配置バランスに偏りのあるエリアや特徴の少ない公園の利用率の低さが問題となっています。また、多くの公園が供用開始から30年以上経過しているものが多く施設の老朽化が見られることから、限られた財源の中で適切な維持管理を行っていく必要があります。

そこで、本計画では、適正な施設配置及び公園機能の再編、維持管理方針の見直しを行うことで、「**維持管理費を抑えつつ、町民がより楽しめる身近な公園を増やす**」ことを目指し、以下の3つの基本方針を掲げます。

① 地域単位で公園を捉えた役割と機能の多様化

面積の小さい身近な公園は、ひとつの公園に多様な施設や機能を詰め込まず、それぞれの公園で子どもの遊びや高齢者の休憩などに機能を特化するとともに、複数の公園を一体的に捉えて役割を分担することで、機能の再配置を図ります。

② 公園ニーズに沿った公園の機能と維持管理の見直し

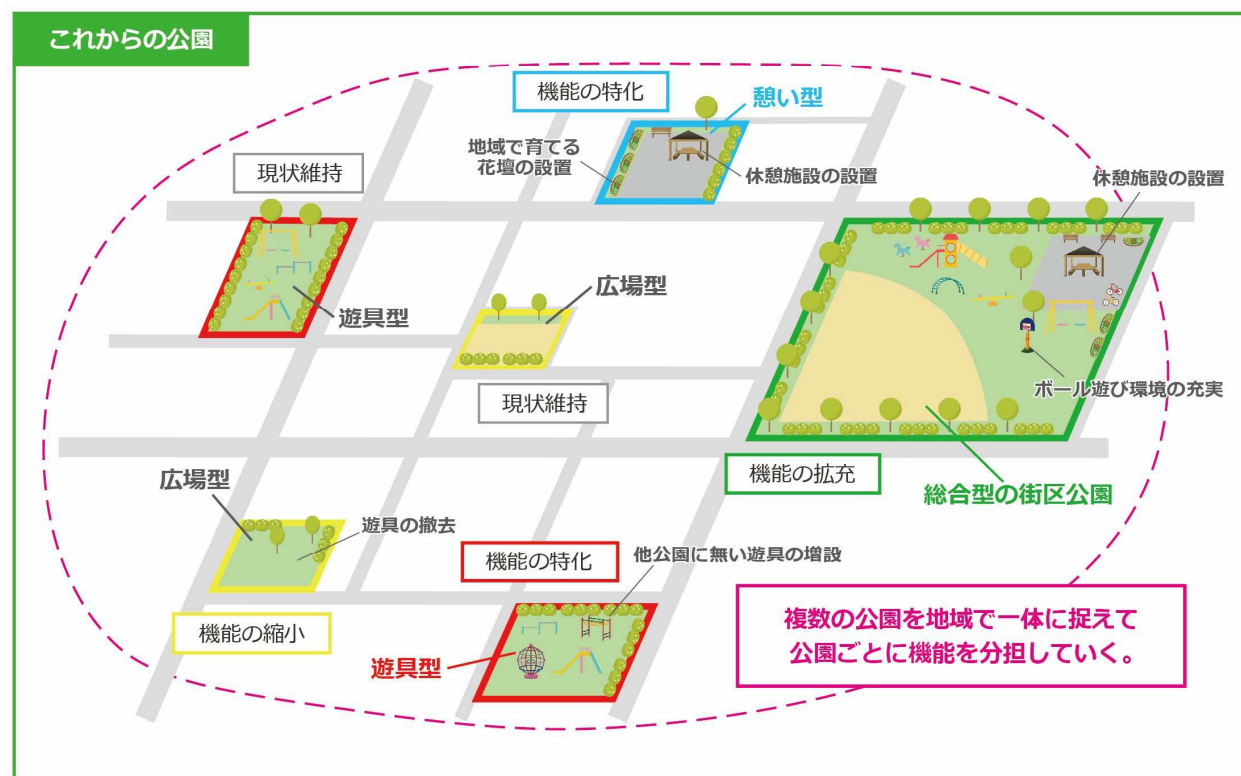
ニーズの高い公園に関して、子どもがのびのびと遊べる公園、子育て世代も楽しめる公園、若者が様々なことにチャレンジできる公園など、新たな過ごし方や楽しみ方ができる魅力的な公園づくりを促進します。

一方で、ニーズが低く、周辺環境などから今後の利活用が見込めない公園は、広場としての機能は維持しつつ、樹木の伐採や施設の老朽化に応じて段階的に施設を撤去する等、維持管理費削減に向けた取り組みを促進します。

③ 様々な人が使いやすいルール作りや仕組みづくり

公園の限られたスペースを最大限に活用し、様々な立場の人がお互いに譲り合いながら気持ちよく利用できるように、ボール遊びに関するルールづくりや、時間帯や複数の公園による使い分けなどの公園利用のルールや仕組みづくりについて、周辺の自治会などの地域活動団体と連携しながら地域の実情に応じて進めます。

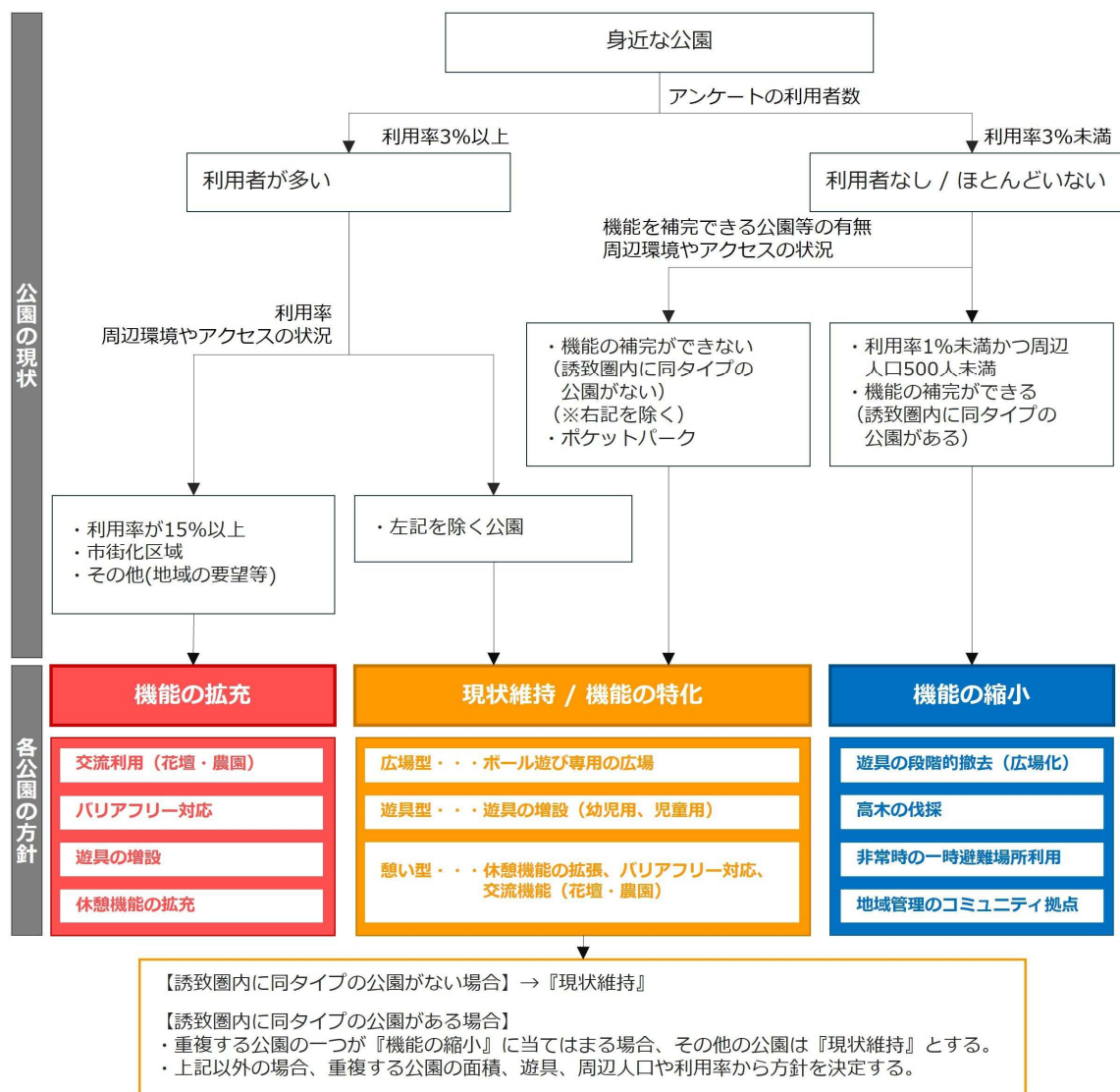
また、アダプトプログラムの見直しや新たな地域参画の仕組みを取り入れることで、町民と行政が一体となった公園育成を目指します。



【公園再編イメージ】

5.2 再編フロー及び結果

住宅地、商業地、工業地など同様の地域特性を有するエリアに存在する複数の公園やまちの資源を一体的に捉え、エリアごとの地域特性に応じて公園の機能をバランスよく配置します。各公園の方針は、公園の規模や特性、周辺環境を踏まえて、以下のフローを用いて、「機能の拡充」「現状維持 / 機能の特化」「機能の縮小」のいずれかを検討しました。



【公園再編フロー】

機能の拡充…利用率が高く周辺人口の多い公園として、既存機能の拡充や新たな機能の設置等、より機能を充実させる方針

現状維持 …対象公園がもつ既存の機能を維持する方針

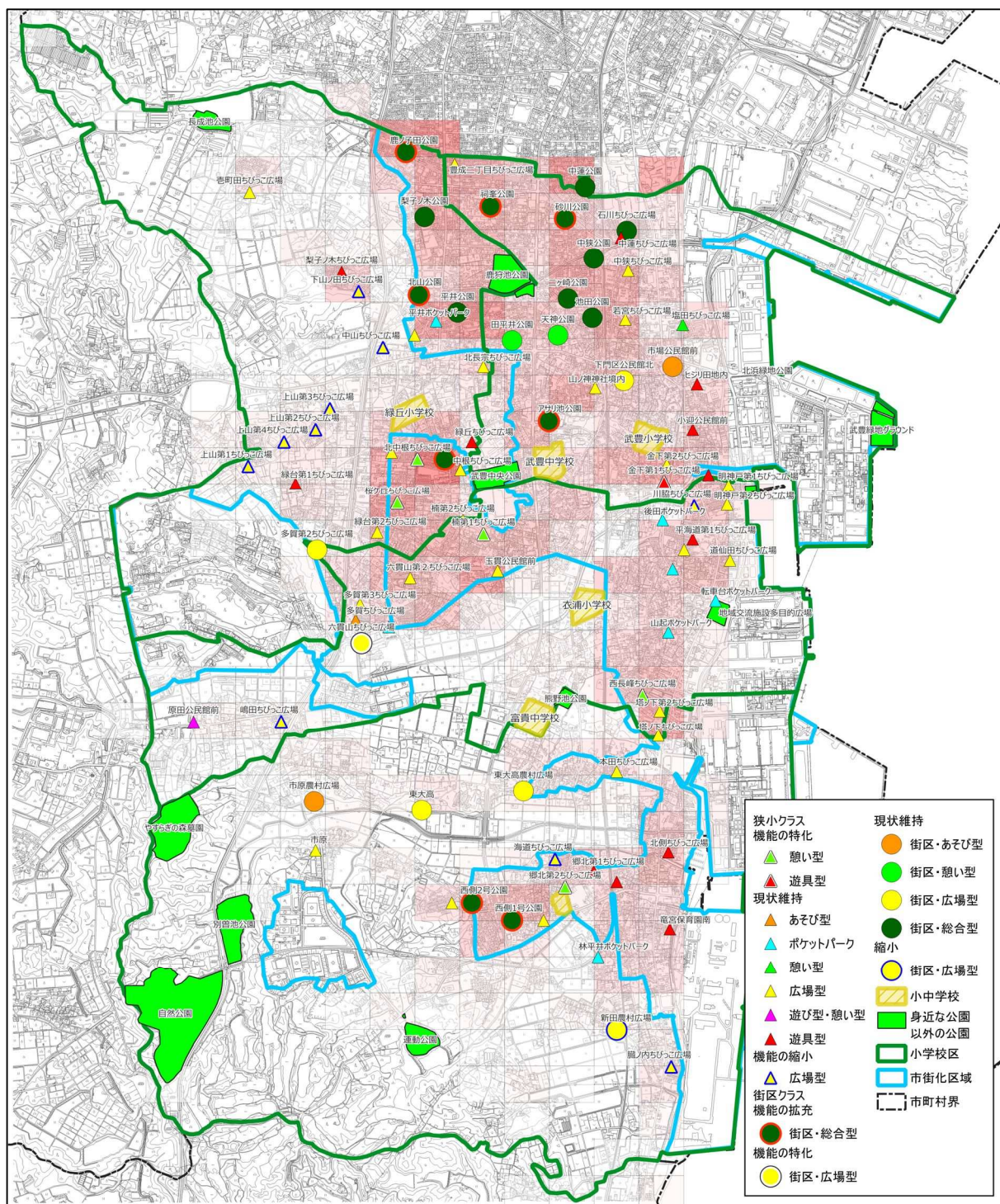
機能の特化…周辺公園との機能分担を図るため、一つの機能に特化させる方針

機能の縮小…既存施設の老朽化に合わせた施設撤去など、段階的に広場化していくことで、管理レベルを下げる方針

※街区公園は都市計画公園であるため、現状維持または機能の拡充を前提とします。

【再編方針内訳表】

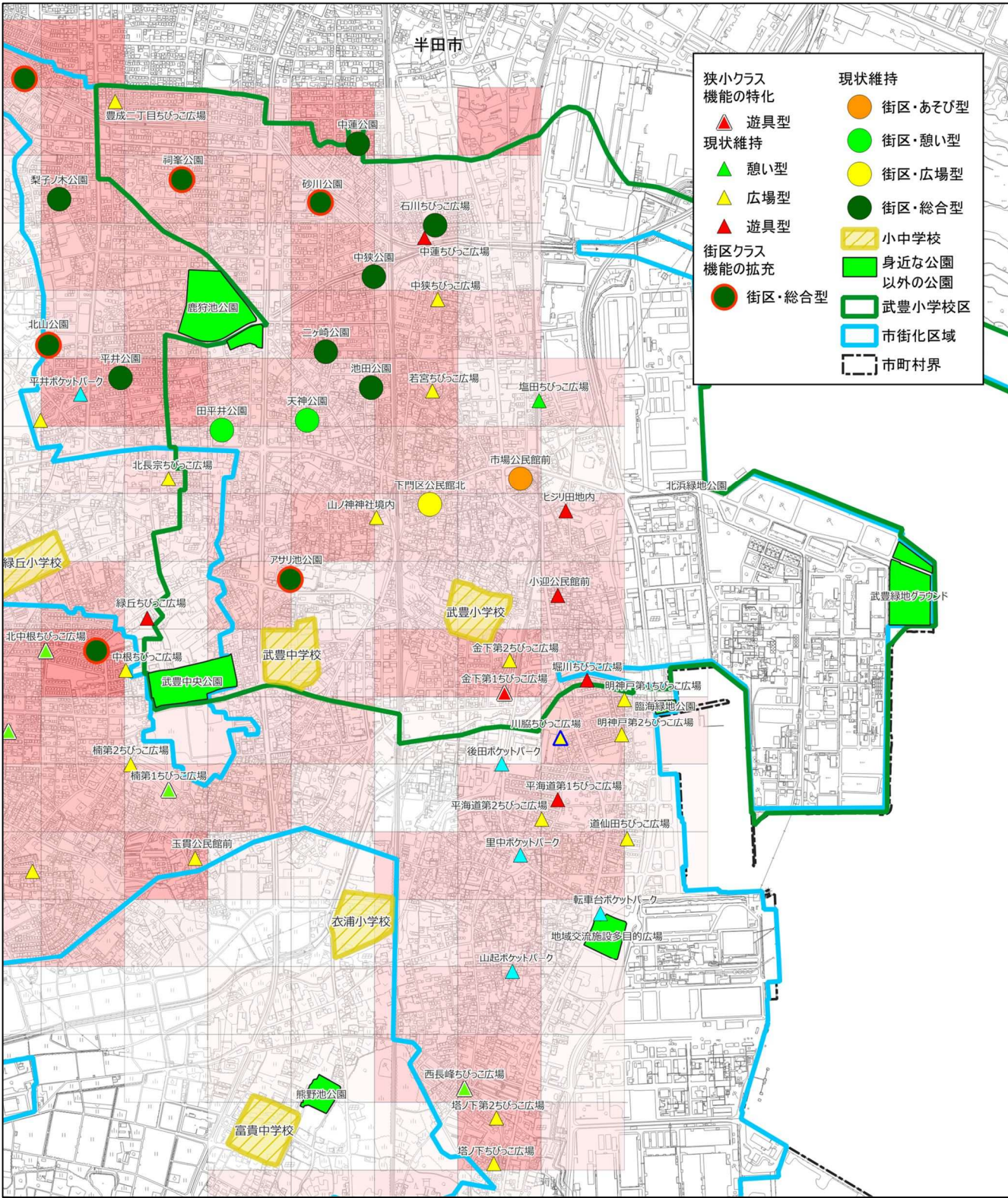
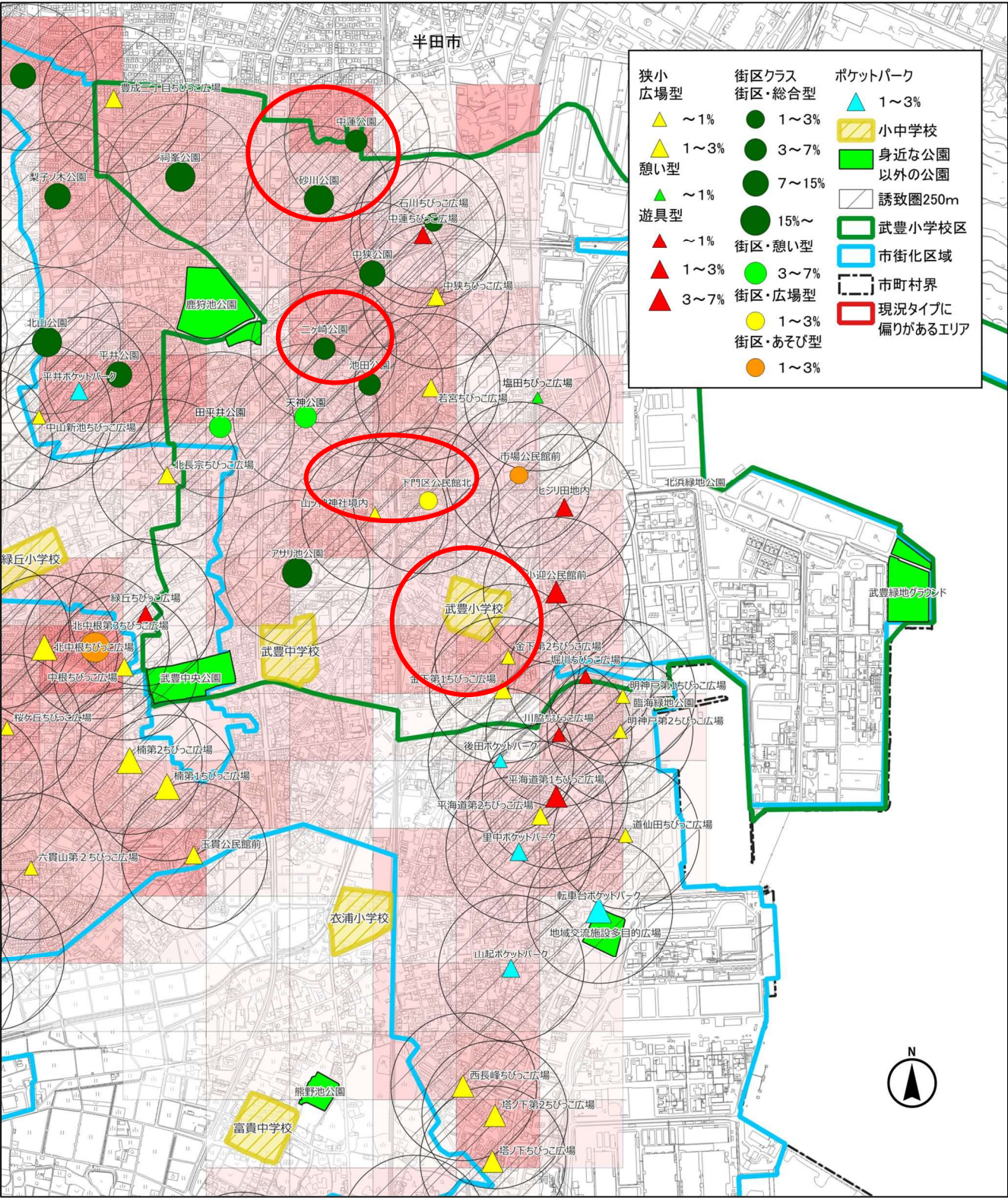
再編方針	公園数
機能の拡充	8公園
機能の特化	7公園
現状維持	60公園
機能の縮小	13公園
計	88公園



【再編方針図】

5.3 各公園の再編方針

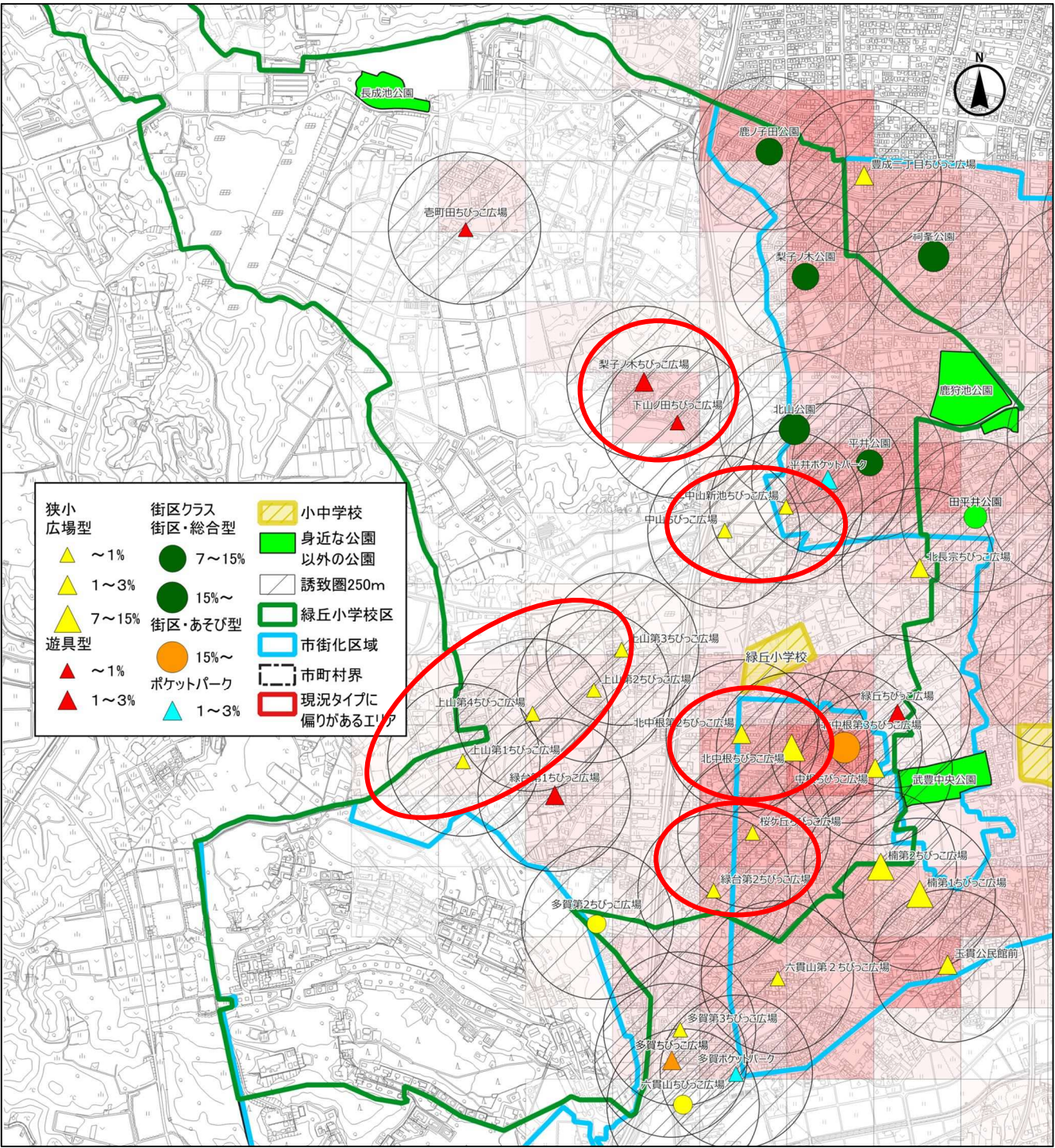
(1) 武豊小学校区



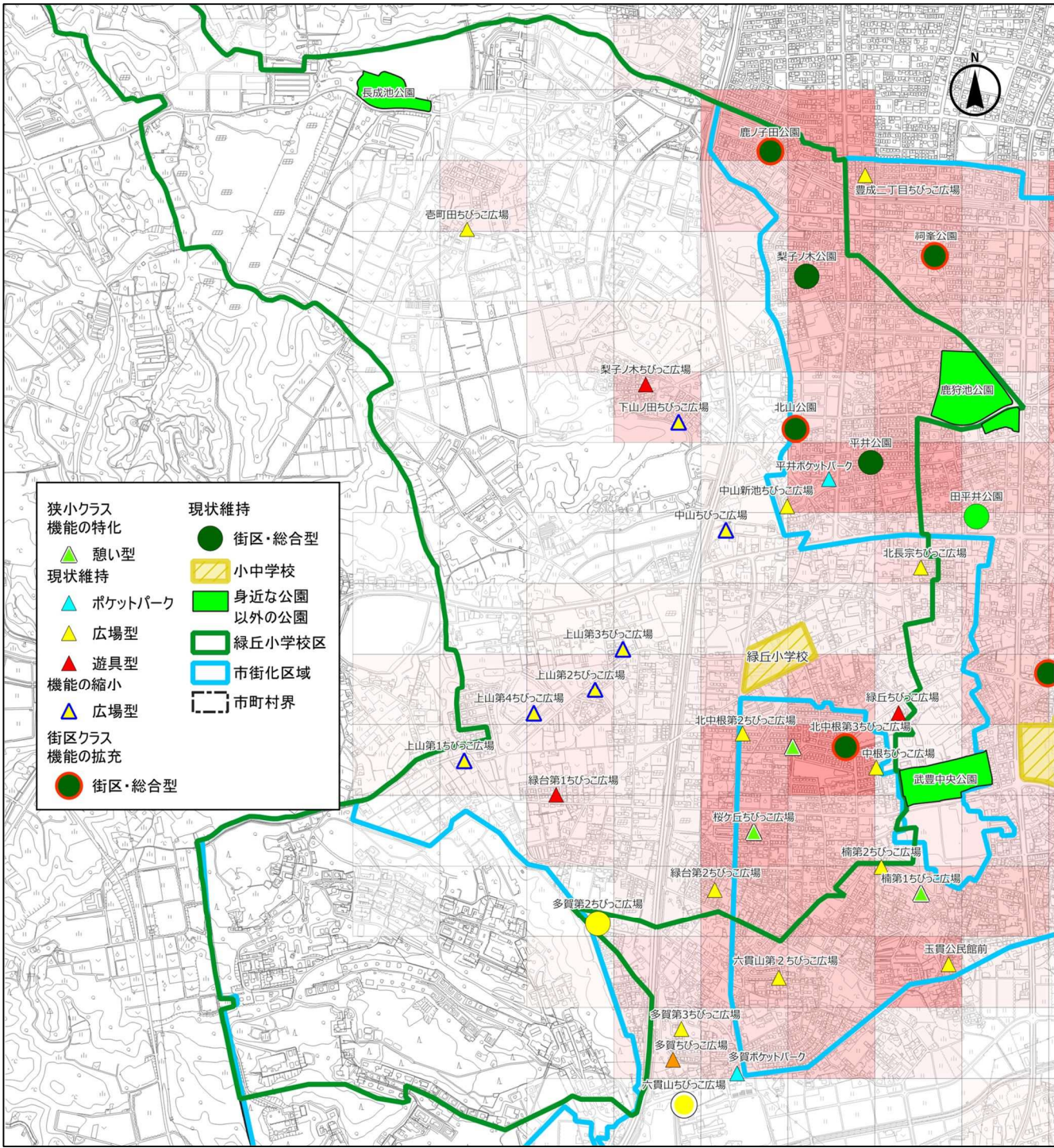
再編方針案一覧（武豊小学校区）

小学校区	No	名 称	公園種別	公園面積	遊具	タイプ	人口	利用実態	利用実態	まちづくりとの整合性	代替機能の有無		方針	将来のタイプ	具体的な施策案	再編理由
							周辺人口	利用率	利用率	市街化区域	誘致圏内の同分類となる公園の有無					
武豊	1	中蓮公園	街区公園	3,171 m ²	4連ブランコ、プレイウォール、コンクリート滑台、砂場	街区・総合型	1,080 人	2	6.6%	○	有	砂川公園	現状維持	街区・総合型		都市計画公園
	2	砂川公園	街区公園	5,069 m ²	4連ブランコ、滑り台、3連鉄棒、ジャングルジム、プレイウォール、砂場、スツール	街区・総合型	1,160 人	4	26.0%	○	有	中蓮公園	機能の拡充	街区・総合型	交流機能の拡充	利用率より
	3	中狭公園	街区公園	3,633 m ²	4連ブランコ、滑り台、砂場	街区・総合型	1,278 人	3	10.5%	○	無		現状維持	街区・総合型		
	4	二ヶ崎公園	街区公園	2,500 m ²	4連ブランコ、滑り台、2連鉄棒、砂場、スツール	街区・総合型	1,230 人	2	5.5%	○	有	池田公園、天神公園	現状維持	街区・総合型		都市計画公園
	5	池田公園	街区公園	1,330 m ²	4連ブランコ、滑り台、3連鉄棒、砂場、スツール	街区・総合型	1,249 人	2	4.1%	○	有	二ヶ崎公園、天神公園	現状維持	街区・総合型		都市計画公園
	6	祠率公園	街区公園	3,750 m ²	複合遊具、2連鉄棒、トリプルリング、ゴム製球型遊具、コミュニケーション遊具、スツール、健康遊具	街区・総合型	1,271 人	4	16.9%	○	無		機能の拡充	街区・総合型	交流機能の拡充等	利用率より
	7	田平井公園	街区公園	1,600 m ²	4連ブランコ、ロッキング遊具	街区・憩い型	1,100 人	2	4.1%	○	無		現状維持	街区・憩い型		
	8	天神公園	街区公園	1,201 m ²	滑り台、ロッキング遊具	街区・憩い型	1,026 人	2	3.9%	○	有	池田公園、二ヶ崎公園	現状維持	街区・憩い型		都市計画公園
	9	アサリ池公園	街区公園	7,691 m ²	隣接する児童遊園に3つ遊具	街区・総合型	879 人	4	23.2%	○	無		機能の拡充	街区・総合型	交流機能の拡充等	利用率より
	10	豊成二丁目ちびっこ広場	ちびっこ広場	213 m ²	コンビネーションブランコ、砂場	広場型	1,677 人	1	1.1%	○	無		現状維持	広場型		
	11	石川ちびっこ広場	ちびっこ広場	3,491 m ²	3連鉄棒、滑り台、ジャングルジム、砂場	街区・総合型	696 人	1	3.9%	○	無		現状維持	街区・総合型		
	12	中蓮ちびっこ広場	ちびっこ広場	277 m ²	2連ブランコ、3連鉄棒、砂場	遊具型	805 人	1	1.1%	○	無		現状維持	遊具型		
	13	若宮ちびっこ広場	ちびっこ広場	221 m ²	コンビネーションブランコ、3連鉄棒	広場型	1,104 人	1	1.1%	○	無		現状維持	広場型		
	14	中狭ちびっこ広場	ちびっこ広場	297 m ²	コンビネーション遊具	広場型	1,004 人	1	2.2%	○	無		現状維持	広場型		
	15	塩田ちびっこ広場	ちびっこ広場	220 m ²	2連ブランコ、砂場	憩い型	591 人	0	0.8%	○	無		現状維持	憩い型		
	16	堀川ちびっこ広場	ちびっこ広場	99 m ²	コンビネーションブランコ、2連鉄棒、砂場	遊具型	933 人	0	0.3%	○	有	川脇ちびっこ広場	現状維持	遊具型		川脇ちびっこ広場と比較して周辺人口が多いため。
	17	金下第1ちびっこ広場	ちびっこ広場	202 m ²	2連ブランコ、3連鉄棒	広場型	912 人	1	1.1%	○	有	金下第2ちびっこ広場	機能の特化	遊具型	遊具の増設	遊具型に特化することで、金下第2ちびっこ広場と差別化
	18	金下第2ちびっこ広場	ちびっこ広場	200 m ²		広場型	1,001 人	0	0.8%	○	有	金下第1ちびっこ広場	現状維持	広場型		金下第1ちびっこ広場との差別化
	19	下門区公民館北	子供の遊び場	1,460 m ²		街区・広場型	892 人	1	2.5%	○	有	山ノ神社境内	現状維持	街区・広場型		地域管理のため現状維持
	20	市場公民館前	子供の遊び場	1,066 m ²	コンビネーションブランコ、4連鉄棒、砂場	街区・あそび型	686 人	1	2.8%	○	無		現状維持	街区・あそび型		
	21	ヒジリ田地内	子供の遊び場	252 m ²	コンビネーションブランコ、3連鉄棒、登り棒	遊具型	665 人	1	1.9%	○	無		現状維持	遊具型		
	22	小迎公民館前	子供の遊び場	65 m ²	3連ブランコ、3連鉄棒、砂場	遊具型	885 人	2	3.3%	○	無		現状維持	遊具型		
	23	山ノ神社境内	子供の遊び場	405 m ²		広場型	981 人	0	0.8%	○	有	下門区公民館北	現状維持	広場型		地域管理のため現状維持

(2) 緑丘小学校区



【現況公園評価（緑丘小学校区）】

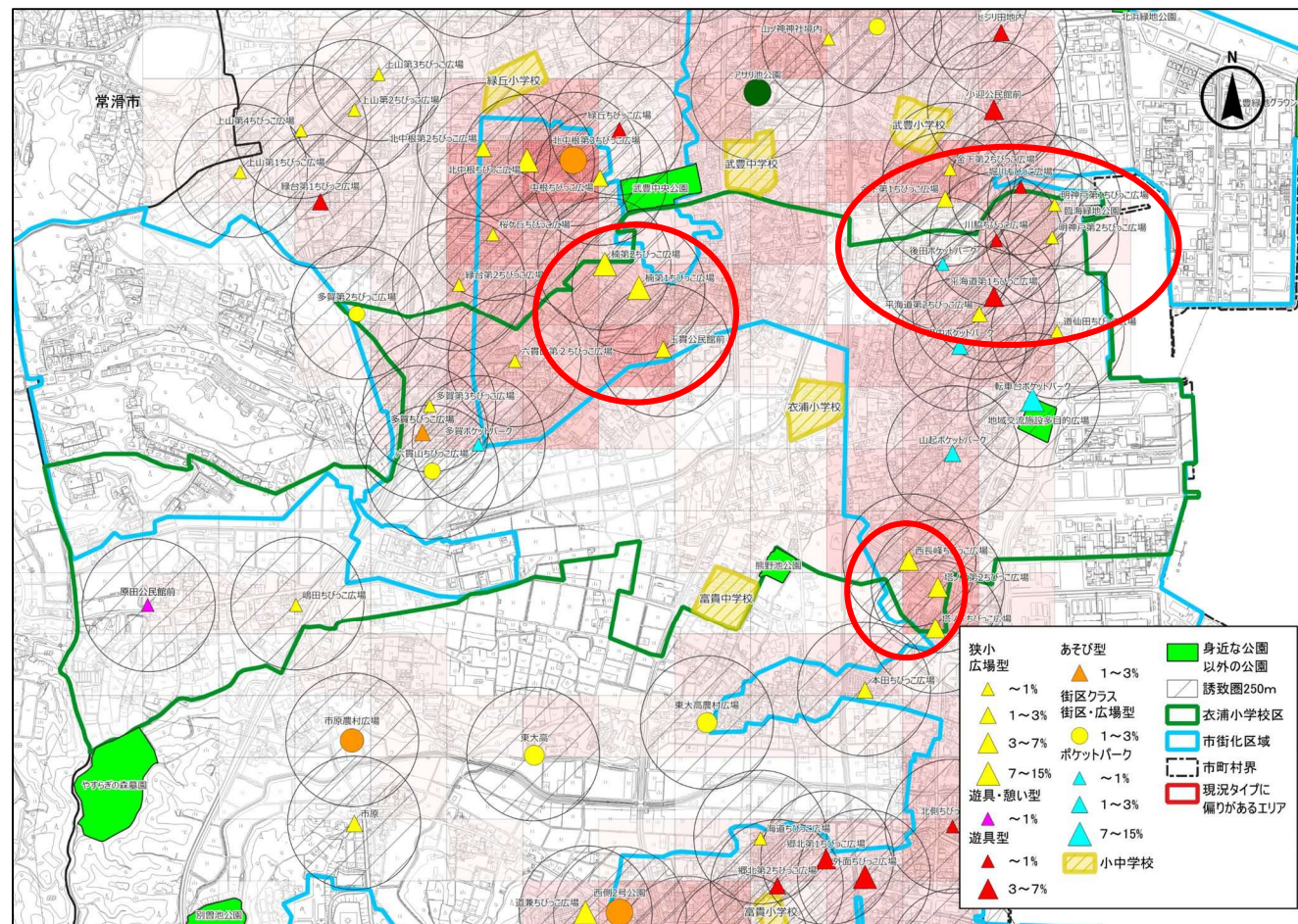


【公園再編方針案（緑丘小学校区）】

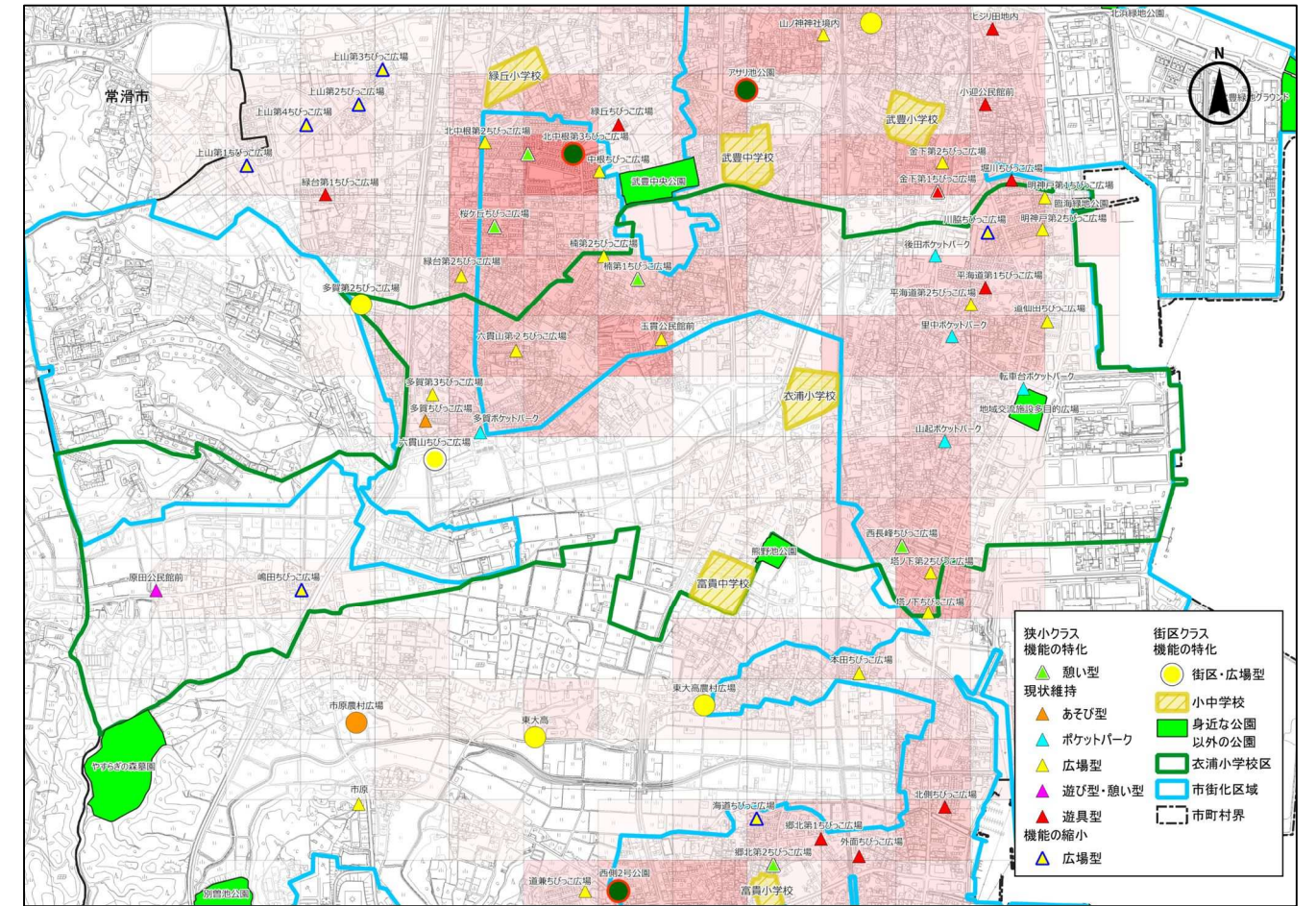
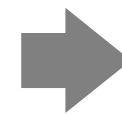
再編方針案一覧（緑丘小学校区）

小学校区	No	名 称	公園種別	公園面積	遊具	タイプ	人口	利用実態	利用実態	まちづくりとの整合性	代替機能の有無		方針	将来のタイプ	具体的な施策案	再編理由
							周辺人口	利用率	利用率	市街化区域	誘致圏内の同分類となる公園の有無					
緑丘	1	鹿ノ子田公園	街区公園	2,801㎡	4連ブランコ、滑り台、砂場	街区・総合型	1,446人	3	9.8%	○	無		機能の拡充	街区・総合型	遊具の増設	地域要望より
	2	梨子ノ木公園	街区公園	2,600㎡	4連ブランコ、滑り台、砂場	街区・総合型	1,124人	3	8.9%	○	無		現状維持	街区・総合型		
	3	北山公園	街区公園	1,500㎡	ロープウェイ、ロッキング遊具、3連鉄棒	街区・総合型	767人	4	23.6%	○	無		機能の拡充	街区・総合型	遊具の増設	利用率より
	4	平井公園	街区公園	1,800㎡	平均台、太鼓橋、砂場、健康遊具	街区・総合型	1,406人	3	8.1%	○	無		現状維持	街区・総合型		
	5	壱町田ちびっこ広場	ちびっこ広場	466㎡	2連ブランコ、シーソー、3連鉄棒	遊具型	179人	0	0.3%		無		現状維持	遊具型		
	6	梨子ノ木ちびっこ広場	ちびっこ広場	329㎡	2連ブランコ、滑り台、雲梯、3連鉄棒、スパイラルはん登棒	遊具型	430人	1	2.0%		有	下山ノ田ちびっこ広場	現状維持	遊具型		下山ノ田ちびっこ広場が機能縮小より
	7	下山ノ田ちびっこ広場	ちびっこ広場	469㎡	コンビネーションブランコ、3連鉄棒、砂場	遊具型	382人	0	0.6%		有	梨子ノ木ちびっこ広場	機能の縮小	広場型	遊具の段階的撤去	周辺人口500人未満、かつ利用率低いため
	8	中山新池ちびっこ広場	ちびっこ広場	150㎡		広場型	666人	0	0.9%	○	有	中山ちびっこ広場	現状維持	広場型		中山ちびっこ広場が機能縮小より
	9	中山ちびっこ広場	ちびっこ広場	910㎡		広場型	195人	0	0.6%		有	中山新池ちびっこ広場	機能の縮小	広場型	管理レベルの縮減	周辺人口500人未満、かつ利用率低いため
	10	北長宗ちびっこ広場	ちびっこ広場	270㎡		広場型	803人	1	2.6%		無		現状維持	広場型		
	11	緑丘ちびっこ広場	ちびっこ広場	283㎡	2連ブランコ、滑り台、3連鉄棒、砂場	遊具型	784人	1	2.3%		無		現状維持	遊具型		
	12	北中根ちびっこ広場	ちびっこ広場	485㎡		広場型	1,588人	3	10.7%	○	有	北中根第2ちびっこ広場	機能の特化	憩い型	交流機能の拡充、休憩機能の拡充等	北中根第2ちびっこ広場より利用率が高いため。
	13	北中根第2ちびっこ広場	ちびっこ広場	240㎡		広場型	1,188人	1	2.3%	○	有	北中根ちびっこ広場	現状維持	広場型		北中根ちびっこ広場より利用率が低いため。
	14	北中根第3ちびっこ広場	ちびっこ広場	1,529㎡	4連ブランコ、3連鉄棒、滑り台	街区・あそび型	1,360人	4	15.3%	○	無		機能の拡充	街区・総合型	休憩機能の拡充	利用率より
	15	中根ちびっこ広場	ちびっこ広場	444㎡	2連ブランコ、2連鉄棒	広場型	1,100人	1	1.2%	○	無		現状維持	広場型		
	16	桜ヶ丘ちびっこ広場	ちびっこ広場	222㎡		広場型	1,440人	0	0.3%	○	有	緑台第2ちびっこ広場	機能の特化	憩い型	交流機能の拡充、休憩機能の拡充等	緑台第2ちびっこ広場より周辺人口も多く利用可能性があるため。
	17	緑台第1ちびっこ広場	ちびっこ広場	613㎡	4連ブランコ、3連鉄棒、2方向滑り台、2連鉄棒、砂場	遊具型	413人	1	1.2%		無		現状維持	遊具型		
	18	緑台第2ちびっこ広場	ちびっこ広場	308㎡	2連鉄棒、シーソー	広場型	1,049人	0	0.6%		有	桜ヶ丘ちびっこ広場	現状維持	広場型		
	19	上山第1ちびっこ広場	ちびっこ広場	639㎡	滑り台、2連鉄棒	広場型	258人	0	0.6%		無		機能の縮小	広場型	遊具の段階的撤去	周辺人口500人未満、かつ利用率低いため
	20	上山第2ちびっこ広場	ちびっこ広場	263㎡	砂場	広場型	388人	0	0.3%		有	上山第3ちびっこ広場、上山第4ちびっこ広場	機能の縮小	広場型	遊具の段階的撤去	周辺人口500人未満、かつ利用率低いため
	21	上山第3ちびっこ広場	ちびっこ広場	200㎡		広場型	312人	0	0.0%		有	上山第2ちびっこ広場、上山第4ちびっこ広場	機能の縮小	広場型	管理レベルの縮減	周辺人口500人未満、かつ利用率低いため
	22	上山第4ちびっこ広場	ちびっこ広場	150㎡		広場型	402人	0	0.0%		有	上山第2ちびっこ広場、上山第3ちびっこ広場	機能の縮小	広場型	管理レベルの縮減	周辺人口500人未満、かつ利用率低いため
	23	平井ポケットパーク	ポケットパーク	437㎡		ポケットパーク	1,082人	1	1.2%	○	無		現状維持	ポケットパーク		

(3) 衣浦小学校区



【現況公園評価（衣浦小学校区）】

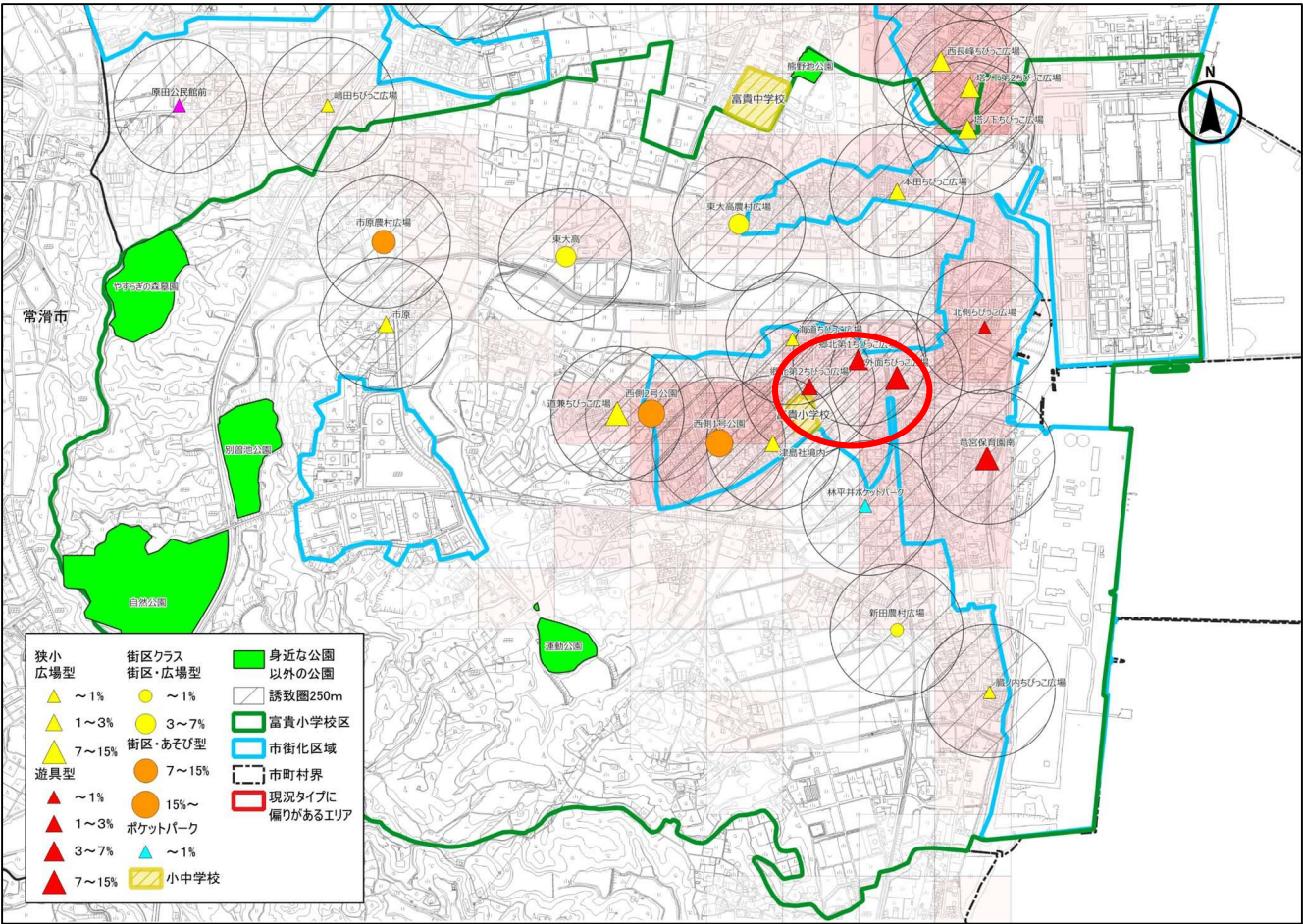


【公園再編方針案（衣浦小学校区）】

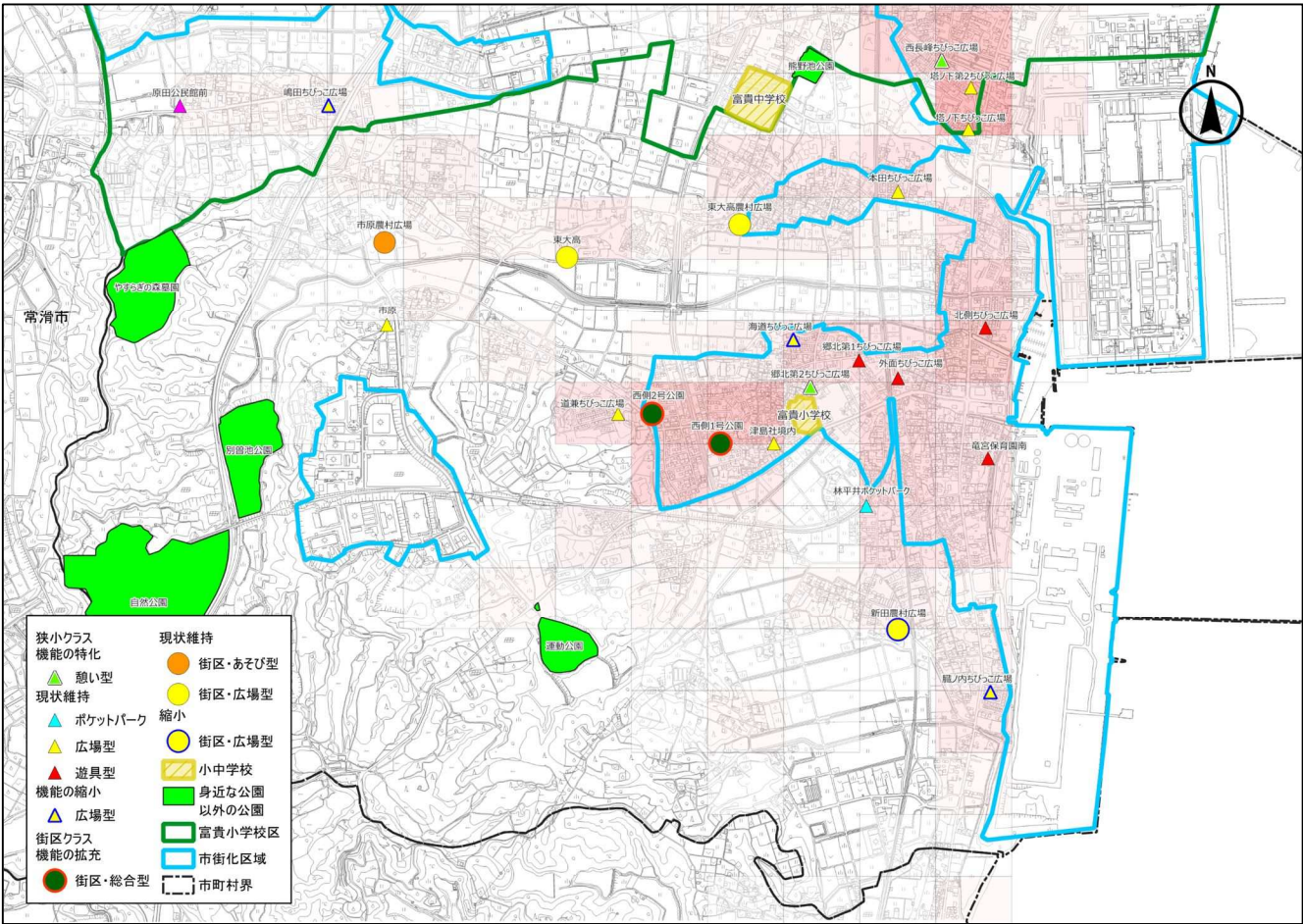
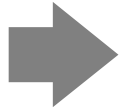
再編方針案一覧（衣浦小学校区）

小学校区	No	名 称	公園種別	公園面積	遊 具	タイプ	人口	利用実態	利用実態	まちづくりとの整合性	代替機能の有無		方針	将来のタイプ	具体的な施策案	再編理由
							周辺人口	利用率	利用率	市街化区域	誘致圏内の同分類となる公園の有無					
衣 浦	1	明神戸第1ちびっこ広場	ちびっこ広場	299 m ²	2方向滑り台、シーソー	広場型	664 人	0	0.0%	○	有	明神戸第2ちびっこ広場	現状維持	広場型		誘致圏内に広場型、遊具型が位置しているため、現状維持
	2	明神戸第2ちびっこ広場	ちびっこ広場	200 m ²	スプリング遊具	広場型	706 人	0	0.9%	○	有	明神戸第1ちびっこ広場	現状維持	広場型		誘致圏内に広場型、遊具型が位置しているため、現状維持
	3	道仙田ちびっこ広場	ちびっこ広場	204 m ²		広場型	558 人	0	0.9%	○	無		現状維持	広場型		
	4	川脇ちびっこ広場	ちびっこ広場	166 m ²	2連ブランコ、3連鉄棒、滑り台	遊具型	870 人	0	0.0%	○	有	堀川ちびっこ広場、平海道第1ちびっこ広場	機能の縮小	広場型	遊具の段階的撤去	堀川ちびっこ広場、平海道第1ちびっこ広場と比較して周辺人口が少ないため。
	5	平海道第1ちびっこ広場	ちびっこ広場	410 m ²	4連ブランコ、3連鉄棒、滑り台	遊具型	924 人	2	3.5%	○	有	川脇ちびっこ広場	現状維持	遊具型		川脇ちびっこ広場が
	6	平海道第2ちびっこ広場	ちびっこ広場	185 m ²	回転滑り台	広場型	954 人	1	1.3%	○	無		現状維持	広場型		
	7	楠第1ちびっこ広場	ちびっこ広場	539 m ²		広場型	1,101 人	3	9.3%	○	有	楠第2ちびっこ広場、玉貴公民館前	機能の特化	憩い型	休憩機能の拡充	楠第2ちびっこ広場、玉貴公民館前と比較して周辺人口が多いため。
	8	楠第2ちびっこ広場	ちびっこ広場	365 m ²		広場型	1,076 人	3	8.4%	○	有	楠第1ちびっこ広場	現状維持	広場型		楠第1ちびっこ広場が機能特化するため。
	9	六貴山ちびっこ広場	ちびっこ広場	3,303 m ²		街区・広場型	222 人	1	1.3%		有	多賀第3ちびっこ広場	機能の特化	街区・広場型	ボール遊び特化	面積が大きいため。
	10	六貴山第2ちびっこ広場	ちびっこ広場	218 m ²		広場型	1,168 人	0	0.9%	○	無		現状維持	広場型		
	11	多賀ちびっこ広場	ちびっこ広場	581 m ²	複合遊具、3連鉄棒、砂場	あそび型	414 人	1	1.8%		無		現状維持	あそび型		
	12	多賀第2ちびっこ広場	ちびっこ広場	3,390 m ²		街区・広場型	294 人	1	2.6%		無		現状維持	街区・広場型		
	13	多賀第3ちびっこ広場	ちびっこ広場	202 m ²	2連鉄棒	広場型	623 人	0	0.9%		有	六貴山ちびっこ広場	現状維持	広場型		六貴山ちびっこ広場が機能特化のため。
	14	嶋田ちびっこ広場	ちびっこ広場	312 m ²	2連鉄棒、砂場	広場型	137 人	0	0.0%		無		機能の縮小	広場型	遊具の段階的撤去	周辺人口500人未満、かつ利用率低いため
	15	塔ノ下ちびっこ広場	ちびっこ広場	490 m ²	3連鉄棒、砂場	広場型	754 人	2	3.1%	○	有	塔ノ下第2ちびっこ広場、西長峰ちびっこ広場	現状維持	広場型		西長峰ちびっこ広場が機能特化するため。
	16	塔ノ下第2ちびっこ広場	ちびっこ広場	86 m ²	コンビネーションブランコ	広場型	1,035 人	2	3.1%	○	有	塔ノ下ちびっこ広場、西長峰ちびっこ広場	現状維持	広場型		西長峰ちびっこ広場が機能特化するため。
	17	西長峰ちびっこ広場	ちびっこ広場	198 m ²		広場型	1,064 人	2	5.3%	○	有	塔ノ下ちびっこ広場、塔ノ下第2ちびっこ広場	機能の特化	憩い型	休憩機能の拡充	塔ノ下ちびっこ広場、塔ノ下第2ちびっこ広場と比較して、周辺人口が多く利用率が高いため。
	18	玉貴公民館前	子供の遊び場	88 m ²		広場型	985 人	1	1.8%	○	有	楠第1ちびっこ広場	現状維持	広場型		楠第1ちびっこ広場が機能特化するため。
	19	原田公民館前	子供の遊び場	203 m ²	2連ブランコ、3連鉄棒、ハンプリング付滑り台、ジャグル事務、太鼓橋、砂場	遊具型・憩い型	78 人	0	0.4%		無		現状維持	遊具型・憩い型		地域管理のため現状維持
	20	転車台ポケットパーク	ポケットパーク	634 m ²	トロッコ型遊具	ポケットパーク	491 人	3	11.0%	○	無		現状維持	ポケットパーク		
	21	後田ポケットパーク	ポケットパーク	704 m ²		ポケットパーク	642 人	0	0.9%	○	無		現状維持	ポケットパーク		
	22	山起ポケットパーク	ポケットパーク	142 m ²		ポケットパーク	755 人	1	1.3%	○	無		現状維持	ポケットパーク		
	23	里中ポケットパーク	ポケットパーク	461 m ²		ポケットパーク	950 人	1	2.6%	○	無		現状維持	ポケットパーク		
	24	多賀ポケットパーク	ポケットパーク	641 m ²		ポケットパーク	469 人	0	0.4%		無		現状維持	ポケットパーク		

(4) 富貴小学校区



【現況公園評価（富貴小学校区）】



【公園再編案方針（富貴小学校区）】

再編結果一覧（富貴小学校区）

小学校区	No	名 称	公園種別	公園面積	遊具	タイプ	人口	利用実態	利用実態	まちづくりとの整合性	代替機能の有無		方針	将来のタイプ	具体的な施策案	再編理由
							周辺人口	利用率	利用率	市街化区域	誘致圏内の同分類となる公園の有無					
	1	西側1号公園	街区公園	1,001㎡	2連ブランコ、滑り台、3連鉄棒	街区・あそび型	909人	4	23.5%	○	無		機能の拡充	街区・総合型	遊具の増設、交流機能の拡充等	利用率より
	2	西側2号公園	街区公園	3,600㎡	2連ブランコ、滑り台、3連鉄棒	街区・あそび型	749人	4	44.6%	○	無		機能の拡充	街区・総合型	遊具の増設、交流機能の拡充等	利用率より
	3	本田ちびっこ広場	ちびっこ広場	243㎡	2連ブランコ、滑り台	広場型	389人	1	1.5%	○	無		現状維持	広場型		
	4	北側ちびっこ広場	ちびっこ広場	469㎡	2連ブランコ、3連鉄棒、回転滑り台、砂場	遊具型	742人	0	0.0%	○	無		現状維持	遊具型		
	5	外面ちびっこ広場	ちびっこ広場	307㎡	コンビネーションブランコ、3連鉄棒、ジャングルジム、砂場、メリーゴーランド	遊具型	744人	3	10.3%	○	有	郷北第1ちびっこ広場、郷北第2ちびっこ広場	現状維持	遊具型		郷北第2ちびっこ広場が機能特化するため。
	6	郷北第1ちびっこ広場	ちびっこ広場	302㎡	コンビネーションブランコ、3連鉄棒、砂場	遊具型	617人	2	4.4%	○	有	外面ちびっこ広場、郷北第2ちびっこ広場	現状維持	遊具型		郷北第2ちびっこ広場が機能特化するため。
	7	郷北第2ちびっこ広場	ちびっこ広場	300㎡	3連鉄棒、シーソー、砂場	遊具型	671人	1	1.5%	○	有	外面ちびっこ広場、郷北第1ちびっこ広場	機能の特化	憩い型	休憩機能の拡充 ※遊具は現状維持	富貴小学校付近に位置し、利用促進が期待されるため。
	8	海道ちびっこ広場	ちびっこ広場	194㎡		広場型	451人	0	0.5%	○	無		機能の縮小	広場型	管理レベルの縮減	周辺人口500人未満、かつ利用率低いため
	9	道兼ちびっこ広場	ちびっこ広場	546㎡		広場型	553人	3	11.3%		無		現状維持	広場型		
	10	蔵ノ内ちびっこ広場	ちびっこ広場	358㎡	3連ブランコ、3連鉄棒	広場型	254人	0	0.0%		無		機能の縮小	広場型	遊具の段階的撤去	周辺人口500人未満、かつ利用率低いため
	11	津島社境内	子供の遊び場	783㎡		広場型	622人	1	1.5%	○	無		現状維持	広場型		
	12	竜宮保育園南	子供の遊び場	770㎡	2連ブランコ、雲梯、5連鉄棒、滑り台、タイヤステップ、月山	遊具型	474人	3	9.8%	○	無		現状維持	遊具型		
	13	東大高農村広場	子供の遊び場	1,700㎡	砂場	街区・広場型	311人	2	4.4%		無		現状維持	街区・広場型		
	14	東大高	子供の遊び場	2,471㎡		街区・広場型	192人	2	3.4%		無		現状維持	街区・広場型		
	15	市原	子供の遊び場	240㎡		広場型	42人	1	1.0%		無		現状維持	広場型		
	16	市原農村広場	子供の遊び場	5,000㎡	シーソー、砂場、3連鉄棒	街区・あそび型	136人	3	9.3%		無		現状維持	街区・あそび型		
	17	新田農村広場	子供の遊び場	1,041㎡		街区・広場型	191人	0	1.0%		無		現状維持	街区・広場型		地域管理のため現状維持
	18	林平井ポケットパーク	ポケットパーク	692㎡		ポケットパーク	457人	0	0.5%		無		現状維持	ポケットパーク		

6. 計画の管理と見直しについて

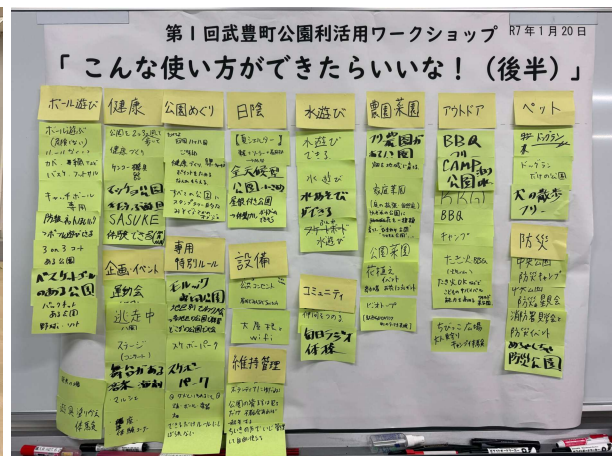
6.1 モデル地区における実証

本計画の実行に向け、人口は集中しているものの、公園の利用率が低く公園の機能に偏りが見られる緑丘小学校区の北中根周辺に位置する武豊中央公園、中根ちびっこ広場、北中根第1ちびっこ広場、北中根第2ちびっこ広場、北中根第3ちびっこ広場、緑丘ちびっこ広場、桜ヶ丘ちびっこ広場をモデル地区として選定し、住民参加による公園利活用ワークショップを実施しました。

6.1.1 ワークショップ概要

ワークショップの概要は以下のとおりです。

回数・日程	実施内容	詳細
1回目 1月20日	これからの公園の使い方を考えよう！	- 再編計画の説明 - モデル地区の説明 - モデル地区の公園に対する印象 - 新たな活用方法の意見出し
2回目 2月18日	活用案を実現する方法を考えよう！	- 前回のおさらい - 具体案の決定 - 地域での管理を行いやすい仕組みについて



【公園利活用ワークショップの様子】

6.1.2 ワークショップ結果

(1) 利活用アイデア

全2回実施したワークショップを通じて、参加者のみなさんから公園の利活用等に関する具体的なアイデアをたくさんいただくことができました。その中でも実現を目指したいアイデアを参加者間で投票した結果は以下のとおりです。

【活用案を決定しよう！】

	企画名	補足
1	シニアカーで公園めぐり	・電動キックボード ・おしゃべりサロン ・スタンプラリー ・ベビーカーでもあり
2	移動型ちびっこ夏祭り	・ピザ ・多年草 ・マルシェ
3	ガス火テント OK！ 1 日防災キャンプ体験	・炊き出し体験 ・キャンプファイヤー ・棒パンづくり ・ナイフ使い方
4	モルックであそぼう！！	・公園ごとのチャンピオン ・決勝は中央公園
5	ハーブ園を作ってお茶会しましょう。	・土づくりイベント ・苗植え体験 ・ピザ ・マルシェ
		(全体共通) ・プロギング（清掃活動） ・第2 ちびっこ広場を臨時 P



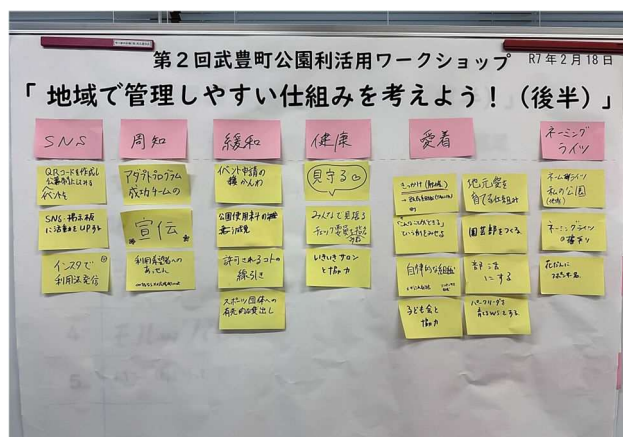
第2回武豊町公園利活用ワークショップ R7年2月18日
「活用案を決定しよう！（前半）」

企画名	補足
1 シニアカーで公園めぐり	電動キックボード おしゃべりサロン スタンプラリー ベビーカー
2 移動型ちびっこ夏祭り	ピザ 多年草 マルシェ
3 ガス火テントOK! 1日防災キャンプ体験	炊き出し体験 キャンプファイヤー 棒パンづくり ナイフ使い方
4 モルックであそぼう!!	公園ごとのチャンピオン 決勝は中央公園
5 ハーブ園を作ってお茶会しましょう。	土づくりイベント 苗植え体験 ピザ マルシェ
	プロギング 第2ちびっこ広場を臨時P

(2) 町民協働による公園管理

利用活用アイデアのほか、公園を地域で自由に使うとともに、地域協働による管理を促進するためのアイデア出しを行いました。参加者からは、公園ごとの利用ルールや地域特性に応じた公園の使い方を可能にするための仕組みづくりや愛着づくりが重要であるといった、今後本計画を実行していくための様々なアイデアを頂きました。

	意見・要望
S 周 知 S	・ QRコードを作成しイベントを公募制にする ・ 掲示板に活動をUPする ・ インスタで利用法を発信 ・ アダプトプログラム成功チームの宣伝 ・ 利用希望者のあっせん（〇〇するなら、××広場がいい等）
緩和	・ イベント申請の緩和 ・ 公園使用料の減免 ・ 許可されることの線引き
健康	・ みんなで見張るチェック要員 ・ いきいきサロンと協力
グ ラ イ ツ ネ ー ミ ン	・ ネーミングライツの権利 ・ ネーミングライツ、わたし（地域）の公園 ・ 花壇にスポンサー名
愛 着	・ きっかけ（こんなコトができるという例を見せる） ・ 園芸部をつくる ・ 部活にする ・ 自律的な組織 ・ 地元愛を育てる仕組み ・ パークリーダーを育てる工夫をする ・ 子ども会と協力



6.1.3 今後の実証について

ワークショップの結果を踏まえ、今後モデル地区の数公園にて段階的に実証を行う予定です。モデルとする公園及び実証内容については、該当する公園の周辺住民・団体の計画への理解をいただいたのちに決定します。

また、実証の結果を参考に、他公園への普及させるための仕組みを整えてまいります。



6.2 計画の実行に向けて

本計画を実行するために、「機能の拡充」及び「機能の特化」となった全15公園の中から、現況タイプ評価及び利用環境評価の結果や配置バランス等を鑑みて、身近な公園を下表のようにA～Cグループに区分し、Aグループからそれぞれ5カ年での完了を目指し、計画的に整備を進めていきます。

なお、再編方針案にて「現状維持」及び「機能の縮小」となった公園については、施設の老朽化に伴い更新又は撤去を進めていきます。

区分	公園名
Aグループ 第1期計画	砂川公園
	鹿ノ子田公園
	北中根ちびっこ広場
	北中根第3ちびっこ広場
	桜ヶ丘ちびっこ広場
Bグループ 第2期計画	祠峯公園
	金下第1ちびっこ広場
	北山公園
	楠第1ちびっこ広場
	西側1号公園
	西側2号公園
Cグループ 第3期計画	アサリ池公園
	六貫山ちびっこ広場
	西長峰ちびっこ広場
	郷北第2ちびっこ広場

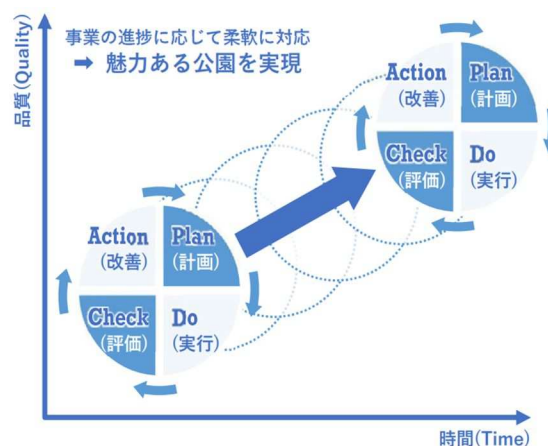
※グループ分けは、原則としてモデル地区となっている公園や、利用率の高い公園を優先しています。

6.3 計画の管理と見直しについて

本計画の進行管理に当たっては、PDCAサイクルを用いた適切な進捗管理及び評価・改善の検討を行います。

具体には、上表にて定めた各グループの期末時に、計画の進捗状況の確認及び、利用状況の変化や住民意見、維持管理状況等を整理し、次期計画内容への反映を行います。

また、社会経済情勢の変化等に伴い新たな課題や住民ニーズへ対応が必要となった場合には、必要に応じ、本計画の見直しを行います。



【PDCAによるサイクルイメージ】